令和３年度

# 高田中学校

# 学校説明会(教育課程)

＜目次＞


１　令和３年度中期学校経営方針　Ｐ１
２　令和３年度運営方針　Ｐ２～３
３　併設型小中学校について　Ｐ４
４　評価・評定について　Ｐ５～６
５　各教科について　Ｐ７～46
６　特別の教科　道徳について　Ｐ47
７　学級活動・生徒会活動について　Ｐ４８～４９
８　総合的な学習の時間について　Ｐ５０～５１
９　学校保健計画・安全計画について　Ｐ５２～５３


横浜市立高田中学校

令和３年４月２３日（金）

# 横浜市立 高田中学校　　令和　3　年度版　中期学校経営方針　（　令和　元　～　3　年度　）

| | |
|---|---|
| 学校教育目標 | 学ぶことを通して、自ら課題を形成し、その課題を自ら解決し21世紀を生き抜く力をもった人を育てる。(ストリートスマート、地域リーダーの育成)<br>子どもたちの自己実現を支援するために次の力をはぐくみます。<br>＊自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力(知)<br>＊生命を尊重し、心身の健康を維持向上していく力(徳・体)<br>＊ともに認め合い社会参画に努め、自他および社会を高めていく力(公・開) |

| 学校概要 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 創立　34　周年 | 学校長　横田由美子 | 副校長　長谷部宏行 | 3　学期制 | 一般学級：10　個別支援学級：2 | |
| 児童生徒数：　349　人 | 主な関係校：高田小学校　高田東小学校 | | | | |

| 教育課程全体で育成を目指す資質・能力 |
|---|
| 協働的に次代の社会をつくる力<br>自己肯定感・自己有用感<br>言語能力<br>情報活用能力 |

| 高田中ブロック | 小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組 |
|---|---|
| 高田中学校<br>高田小学校<br>高田東小学校 | ○自らすすんで学び続ける子<br>○仲間と協力してよりよい社会の実現を目指す子<br>・校長ランチミーティング・12人会議・90人会議を通して、小中一貫教育の更なる推進。<br>・「豊かな表現力の育成」をブロック研究テーマとした授業づくりの推進。<br>・高田中ブロック「資質・能力ベース　カリキュラム」の作成 |

| 中期取組目標 |
|---|
| ○明るく・楽しく・前向き(あ・た・ま)をモットーに、<br>それぞれに笑顔と居場所がある明るくあたたかい学校づくりを「チームたかた」で目指します。<br>○教職員が生き生きと学び認め助け合い、生徒理解力と生徒に寄り添った指導力の向上に努める学校を目指します。<br>○生徒が自らの将来の夢や目標の実現に向かい、異なる価値観や考え方や行動を認め、大切にし合い、自ら考え誤解なく伝えようとする態度の醸成を目指します。<br>○学校・家庭・地域・社会による連携・協働により、「地域・社会と共に歩む開かれた学校」づくりを一層すすめます。<br>○生徒それぞれの学力の定着・向上と主体的・対話的で深い学びを促進できる授業の実践を目指します。 |

| 重点取組分野 | 具体的取組 |
|---|---|
| 生きてはたらく知<br>担当　各教科・研究部 | ①新学習指導要領実施に伴い「主体的・対話的で深い学び」ができる授業への改善を図る。②教科横断的な学びの充実と、学校外のリソースを活用した社会につながる学びにむけた研究を推進する。③教育活動の充実、効果を上げるためにICTを有効的に活用する。 |
| 豊かな心<br>担当　学習指導部 | ①よりよい社会の実現にむけて実践できる生徒の育成を目指し、道徳教育の充実を図る。②「Pay it Forward」(恩送り)の考え方を積極的に推進する中で、互いの良さを認め合いながら、個々の人権感覚の醸成を図る。③人権作文コンテストに全員が参加することで人権への理解と意識を高める。 |
| 健やかな体<br>担当　保健安全美化指導部・保健体育科 | ①健康教育や学校保健委員会などを通して、生徒が心身の成長や健康について関心をもち、主体的に健康で安全な生活を送れるように支援を行う。②保健体育を通じて、生徒が自身の体力を知り、自ら体力の維持や向上を図る活動を行う。③食や感染症に関する知識と生活習慣とを身につける活動の充実を図る。 |
| 生徒指導<br>担当　生徒指導部・特活指導部 | ①家庭・地域・学校が一体となり、生徒の情報を共有し、生徒の心情に寄り添った生徒指導の充実を図る。②生活アンケート、教育相談、YPを活用した積極的生徒指導を行い、生徒が安全・安心して過ごせる学校づくりを図る。 |
| 特別支援教育<br>担当　特別支援教育 | ①合理的配慮の必要な生徒への対応について、職員間での共通理解を図る。特別な支援を要する生徒への個別の教育支援計画・個別の指導計画作成を全職員で取り組み、対応を実施する。②不登校・集団生活への不適応など課題のある生徒への「個に応じた指導」の充実を図る。 |
| 地域連携・学校運営協議会<br>担当　管理職・専任 | ①「小中連携」「地域連携」を意識した活動の充実を図り、児童・生徒が高田中ブロックや地域の一員としての意識をもてる機会を多くする。②外部人材などの教育資源を引き続き模索し、「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。 |
| 公共心と社会参画<br>担当　研究部・特活指導部・学習指導部 | ①SDGsを視点とした教育活動を拡大を図るために、引き続き新たな教材開発を行う。②キャリア教育(職業講話・職場体験・進路学習)などを通して、生徒が社会的・職業的自立に向けて、自分の役割と責任を自覚し、社会に関わろうとする意識を高める。 |
| 情報教育<br>担当　GIGAスクール推進部 | ①情報活用能力の育成を図り、ICTを活用した授業をさらに広げ、学び合い、個別最適な学び、協働的な学習を支援する。②生徒主体のICT利活用の場を広げ、デジタルシティズンシップを醸成する。③ICT支援と協働し、職員のスキルアップとICT教育環境整備に努める。 |
| いじめへの対応<br>担当　いじめ防止対策委員会 | ①いじめ防止対策推進法に関する職員研修を実施し、いじめ防止対策委員会を中心としたいじめに対応する体制を強化する。②外部講師を招き、生徒がネットトラブルに関する学習する機会を設け、デジタルシティズンシップの育成へとつなげる。 |
| 人材育成・組織運営(働き方改革)<br>担当　管理職・主幹教諭 | ①学び合いによる授業力向上や、学校外の世界や情報に触れ、教職員が持続的自発的に学び続ける文化、環境を築いていく②校務と学びの場面での高田中学校GIGAスクールを推進し、ICTを活用した効率化と業務スリム化と質の高い教育活動を推進する。③「報告・連絡・相談」体制が確立し、ドキュメント化が習慣化された全教職員参加型の組織運営を目指す。 |

令和３年度　高田中学校の運営方針

校長　横田　由美子

## １　はじめに

高田中学校の教職員による子ども一人ひとりに寄り添った丁寧な指導や子どもたちの素直さと子どもらしさとを、当校のかけがえのない財産と強く感じています。

新型コロナウィルス感染症との闘いが長期にわたっていますが、この初めて尽くしの事態の中、高田中学校教職員の使命感と子どもたちへの熱い思い、そして、地域・保護者の皆様の温かいご理解に支えられ、学びをとめない、つながりをとめないための取り組みを進めてくることができたと思っています。

高田中学校の伝統を大切に、また、教職員自身も一人の大人として幸せな生活が送れる、そんな高田中学校でありたいと願っています。

## ２　教育の目的

私が考える学校教育の目的は、「子どもたちが大人になったとき、それぞれが自分らしさを発揮し、**明るく楽しく前向き（あ・た・ま）**に、自己肯定感をもち、答えが一つでない新しい時代の中で、自ら考え解決し、幸せに暮らし社会に貢献して活躍している」、そんな幸せな将来像を願い、子どもたちが教育活動を通じて、生きていくために必要な力と互いに幸せに生き抜く力を育むことです。

自ら自律的に考え自ら動く、これは、解のない、予測不可能な世の中で非常に大切な力です。これまでの高田中学校の教育目標である「学ぶことを通して、自ら課題を形成し、その課題を自ら解決し21世紀を生き抜く力をもった人を育てる。（ストリートスマート、地域リーダーの育成）」とも重なる思いです。

## ３　目指す学校像

次の学校像を、小中の連携を密に義務教育９年間の連続性を大切にしながら目指していけたらと思っています。

- **「子どもたちはもちろん、保護者、地域、関係諸機関、そして教職員のすべての人々が安心して集い、笑顔と居場所がある明るくあたたかい学校」**

- **「地域・社会と育てる学校、社会とつながる学校」**

## ４　目指す学校像に向かって令和３年度取り組んでいきたい事項

### ➢　「安心して集い、笑顔と居場所がある明るくあたたかい学校」

・子どもたちと丁寧に向き合える時間を確保できるよう、教職員の多忙感を軽減し、気持ちのゆとりを創出すべく働き方改革を図る。
・教職員が問題を抱え込まず、皆で考え解決していく。チーム高田中学校として、気になることは小さなことでも「報」「連」「相」を心掛け、協力し合い、学年/学校全体で子どもの成長を育む。
・丁寧な生徒理解にもとづいた子どもの心情と個性とに寄り添った指導と子どもの将来を見据えた指導。
・それら指導ができる教職員、それぞれ個性ある魅力ある大人として背中を見せ合える教職員であり続けるための自発的で継続的な学び。
・先の見えない新型コロナ感染症の感染拡大状況下、子どもたちの不安感を少しでも解消し、学びを止めないよう、家庭との連携を密に、学校で対応できる最適で現実的な対応。

### ➢　「地域・社会と育てる学校、社会とつながる学校」

・学習支援ボランティアをはじめ、外部人材/リソース/ICT 等を活用した、開かれた学校と社会とのつながりを意識できる、より豊かな学びの推進。
・「将来なりたい自分の姿」探しのきっかけになるべく、子どもたちへの、保護者、教師に加え、第三の大人・多様な大人と触れ合う機会作り。
・学校のサポーターである地域・保護者・社会人との持続的な信頼関係構築。
・『不易（高田中学校の伝統の本質）と流行（次世代教育)』を体現する学校作り。
　-新学習指導要領の趣旨理解にもとづいた教育課程の運営・改善の推進
　（教科横断の学び、個別最適な学び、社会に開かれた学び、キャリア教育、行事、高田の時間など）
　-高田中学校 GIGA スクールの推進

# 小学校併設型中学校について

平成 29 年度より、高田中ブロック（高田中学校・高田小学校・高田東小学校）は、「中学校併設型小学校および小学校併設型中学校」の一つとして指定されています。

併設型小・中学校では、地域の特性や児童・生徒の実態に即し、授業時数や教育内容の配列などについて、学習指導要領の枠を柔軟に捉えて教育課程を編成し、学習、生活の両面で９年間一貫した緩やかで確実な教育活動を実現させることを目的としています。高田中学校ブロックでは、併設型小・中学校として、以下の①～④のような具体的な取組を３校で進めていきます。

① 中学校ブロックで育てたい資質・能力、具体的な子どもの姿の検討
② 学び方（学習規律、家庭の役割等）についての検討
③ 小中一貫カリキュラムの編成（新学習指導要領の趣旨理解）
④ 中学校ブロック３校合同学校運営協議会の開催

昨年度までの成果は、以下のようなものです。

＜成果＞

○コロナ禍における継続した小中一貫教育の推進
→オンライン会議システム(Zoom)を活用し、３校による会議を定期に実施し、遠隔地でもスムーズに研究推進を行うことができた。
→オンライン会議システム(Zoom)を活用し、授業提案・研究協議を実施し、コロナ禍において継続して研究を進めることができた。
→小中交流の充実を図るため、中学校図書館を紹介する動画の作成や、中学校生活を紹介する動画を６年生からのアンケートをもとに作成した。

○９年間を通した特徴的な取組の推進
→「だれにとっても」居心地のよい学校づくりをめざす「横浜子ども会議」の取組において、３校代表児童・生徒による各校の取組状況の共有と今後についての充実した話合いをオンライン会議システム(Zoom)を通じて行い、次年度に向けて３校共通した「あいさつ運動」に向けた取組を決定した。

# 令和３年度 高田中の評価と評定について

本校の評価・評定の方法につきましては、横浜市教育委員会の方針にもとづき、各教科観点別の学習状況を「目標に準拠した」評価で行っております。いわゆる「絶対評価」です。それを総括的に評価し、評定をつけております。

そして、昨年度まで９教科の学習評価の観点は４観点（国語は５観点）でした。今年度より、新教育課程が始まり、これにともない９教科の学習評価の観点は３観点に変わっています。

## 1. 必修教科の評定は、観点別学習状況の評価を基本として5段階で評定をします。

① 観点別学習状況とは、各教科の学習に含まれるさまざまな能力のうち、同質の構造をもった能力に分類してまとめたものを「観点別学習状況」とよんでいます。具体的には「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の３つの観点に分けられています。各観点にそって教科の内容ごとに目標の達成状況・実現状況を判断して評価をします。

② 観点別学習状況は５段階で評価します。
観点別学習状況は、「目標に準拠した評価」で分析的に評価して 「A゜」・「A」・「B」・「C゜」・「C」の５段階で評価します。それぞれの段階には次のような意味があります。

A゜ ： 観点のねらいの実現が十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの
A ： 観点のねらいの実現が十分満足できると判断されるもの
B ： 観点のねらいの実現がおおむね満足できると判断されるもの
C゜ ： 観点のねらいの実現に努力を要すると判断されるもの
C ： 観点のねらいの実現に一層の努力を要すると判断されるもの

③ 各観点の実現状況を総括的に評価して、５段階（A゜、A、B、C゜、C）で評定します。

④ 観点別評価から評定までの一般的な手順は、次の通りです。

■各観点ごとの学習状況の評価

※ 日常の評価：レポート、作品、発表、授業中のようす、発言、提出物など
※ 試験：小テスト、定期試験など

⟶ A゜、A 、B 、C゜、C で評価する。

↓

■観点別評価をもとにした評定 ⟶ ５、４、３、２、１ の５段階で評定する。

⑤ 観点別学習状況の評価から評定への総括の方法は、次の通りです。
各観点の学習状況の評価を A゜＝５点、A＝４点、B＝３点、C゜＝２点、C＝１点 として点数化し、観点別学習状況の評価の合計点を算出し、合計点に合わせて評定を決定します。
詳しくは、「３．資料」をごらんください。

## 2. 評価・評定の提示の時期について

**① １学期評定**
４月から７月までの９教科についての観点別学習状況の評価・評定を行います。
**② ２学期評定**
４月から１２月までの９教科についての観点別学習状況の評価・評定を行います。３年生は、公立高等学校用調査書に記載される成績となります。
**③ ３学期評定**
４月から３月までの９教科についての観点別学習状況の評価・評定を行います。１年間の総括的な評価と評定となります。２年生は、公立高等学校用調査書に記載される成績となります。

※ 教科の所見では、９教科の学習のねらいについて、今後努力してほしいことや成果の見られたところを文章で評価します。

## 3. 資料

観点別学習状況の評価及び評定への総括の方法は次の通りです。

A゜＝５点・A＝４点・B＝３点・C゜＝２点・C＝１点

（観点別学習状況の評価及び評定への総括の例）

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に学習に取り組む態度 | 合　計 | 評　定 |
|---|---|---|---|---|
| A゜<br>５点 | C゜<br>２点 | B<br>３点 | １０点 | ３ |

| 評　定 | 評定ｽｹｰﾙ |
|---|---|
| ５ | １４点～１５点 |
| ４ | １１点～１３点 |
| ３ | ８点～１０点 |
| ２ | ５点～　７点 |
| １ | ３点～　４点 |

## 4. その他

総合的な学習の時間の記録については、活動内容が学年ごとに時期と内容が異なりますので、それぞれ主に学習した学期に表記します。

〈例〉１年生：職業講話の学習
２年生：鎌倉校外学習関連ならびにキャリア学習
３年生：修学旅行関連

また、特別の教科「道徳」の記録については、一年間を通した「道徳の授業」における生徒達の学習の様子や変容について表記します。

# （ 国語科 ）

## １ 教科の目標

言葉を正確に理解する力を育成し、思考力や想像力を養い、伝え合う力を高める。

## ２ 評価について

| 観点 | 評価の観点の趣旨 | 授業への取り組み | ノート | 発表 | 作文 | 定期テスト | 評価にあたって重視することがら（評価規準） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 知識・技能 | 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。 | ○ | ◎ | ○ | | ◎ | ・音声の働きや仕組みについて理解を深めている。<br>・比較や分類などの情報の整理の仕方を理解している。<br>・必要な漢字の読み書きができ、組み立てや部首についても理解している。 |
| 思考・判断・表現 | 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ・会話や描写から登場人物の心情や関係の変化を捉えている。<br>・情報を的確に聞き取り、要点を押さえたメモを取っている。<br>・文章の中心的な部分を捉え、筆者の主張を理解している。<br>・文章の構成に着目し、要旨を捉えている。<br>・表現の仕方を工夫して、自分の考えが分かりやすく伝わるように、話したり書いたりしている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。:」 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ○ | ・描写を基に場面の展開を捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。<br>・集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもって分かりやすく説明しようとしている。<br>・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしている。 |

## ３ 年間指導計画

［第1学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 朝のリレー<br>言葉に出会うために | ○音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。<br>○比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。<br>○目的や意図に応じて、日常生活から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。 | 8 | 大人になれなかった弟たちに・・・<br>星の花が降るころに<br>聞き上手になろう<br>項目を立てて書こう | ○場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。<br>○場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈することができる。<br>○必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて自分の考えをまとめることができる。 | 1 | **少年の日の思い出** | ○事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。<br>○文章の展開や構成、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。<br>○文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにすることができる。 |
| 5 | シンシュン<br>情報を的確に聞き取る<br>情報を整理して書こう<br>漢字の組み立てと部首 | ○事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。<br>○場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。<br>○必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて自分の考えをまとめることができる。 | 9 | | | 2 | 随筆二編<br>構成や描写を工夫して書こう | ○場面と場面、場面と描写などを結びつけたりして、内容を解釈することができる。<br>○根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 |
| 6 | ダイコンは大きな根？<br>ちょっと立ち止まって<br>話の構成を工夫しよう<br>漢字に親しもう<br>情報社会を生きる | ○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。<br>○文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握することができる。<br>○音声の働きや仕組みについて理解を深めることができる。 | 10 | 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ<br>根拠を示して説明しよう<br>話題や展開を捉えて話し合おう | ○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。<br>○文章の展開や構成、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。<br>○比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 | 3 | 一年間の学びを振り返ろう<br>さくらの　はなびら | ○比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。<br>○相手の反応を踏まえながら、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 |
| 7 | 詩の世界<br>比喩で広がる言葉の世界<br>言葉を広めよう<br>読書生活を豊かに | ○表現の技法を理解し使うことができる。<br>○文章の展開や構成、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。<br>○読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解することができる。 | 11 | 大阿蘇<br>いろは歌<br>古典の世界<br>蓬莱の玉の枝 | ○事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。<br>○音読に必要な文語の決まりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができる。<br>○場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。 | | | |
| | | | 12 | 今に生きる言葉<br>「不便」の価値を見つめ直す<br>助言を自分の文章に生かそう<br>読書に親しむ | ○文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えを確かなものにすることができる。<br>○原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解することができる。<br>○目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。 | | | |

［第2学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 見えないだけ<br>アイスプラネット | ○抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。<br>○文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えることができる。 | 8 | 盆土産<br>字のない葉書<br>聞き上手になろう<br>表現を工夫して書こう | ○抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。<br>○登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。<br>○観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えることができる。<br>○論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめることができる。 | 1 | 走れメロス | ○抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。<br>○登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。<br>○文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 |
| 5 | 枕草子<br>多様な方法で情報を集めよう | ○現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。<br>○文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。<br>○情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。 | 9 | | | 2 | 構成を工夫して書こう | ○話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。<br>○伝えたいことが分かりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫することができる。<br>○表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見いだすことができる。 |
| 6 | クマゼミ増加の原因を探る<br>魅力的な提案をしよう<br>情報社会を生きる | ○話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。<br>○文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えることができる。<br>○言葉には、相手の行動を促す働きがあることに気づくことができる。<br>○資料や機器を用いるなどして、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 | 10 | モアイは語る<br>根拠の適切さを考えて書こう<br>立場を尊重して話し合おう<br>月夜の浜辺 | ○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。<br>○文章の構成や論理の展開について考えることができる。<br>○根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 | 3 | 国語の学びを振り返ろう<br>木 | ○話や文章の構成や展開について理解を深めることができる。<br>○情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うことができる。<br>○互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることができる。<br>○抽象的な概念を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 |
| 7 | 短歌に親しむ<br>短歌を味わう<br>言葉の力<br>読書生活を豊かに | ○観点を明確にして短歌を比較するなどし、短歌の構成や表現の効果について考えることができる。<br>○文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 | 11 | 源氏と平家<br>扇の的<br>仁和寺にある法師<br>漢詩の風景 | ○作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しむことができる。<br>○現代語訳や語注などを手掛かりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知ることができる。<br>○登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈することができる。 | | | |
| | | | 12 | 君は「最後の晩餐」を知っているか<br>魅力を効果的に伝えよう<br>読書に親しむ | ○意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。<br>○目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈することができる。 | | | |

［第3学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 世界は美しいと<br>握手 | ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。<br>○文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えることができる。<br>○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 | 8 | 挨拶<br>故郷<br>聞き上手になろう | ○詩の構成や表現のしかたについて評価することができる。<br>○詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持つことができる。<br>○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効果について理解することができる。<br>○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。 | 1 | 温かいスープ | ○自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解することができる。<br>○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持つことができる。 |
| 5 | 学びて時に之を習ふ<br>文章の種類を選んで書こう | ○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。<br>○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持つことができる。<br>○目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすることができる。 | 9 | | | 2 | わたしを束ねないで | ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。<br>○詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持つことができる。 |
| 6 | 作られた「物語」を超えて<br>説得力のある構成を考えよう<br>情報社会を生きる | ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。<br>○文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えることができる。<br>○目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討することができる。 | 10 | 人工知能との未来<br>人間と人工知能と創造性<br>多角的に分析して書こう | ○情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。<br>○文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えることができる。<br>○表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えが分かりやすく伝わる文章になるように工夫することができる。 | 3 | 三年間の歩みを振り返ろう | ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。<br>○場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 |
| 7 | 俳句の可能性<br>俳句を味わう<br>言葉を選ぼう<br>読書生活を豊かに | ○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。<br>○多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて文章の構成を工夫することができる。<br>○時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解することができる。 | 11 | 合意形成に向けて話し合おう<br>和歌の世界<br>古今和歌集仮名序<br>君待つと | ○具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。<br>○進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりすることができる。<br>○歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しむことができる。 | | | |
| | | | 12 | 夏草<br>古典名句・名言集<br>誰かの代わりに<br>情報を読みとって文章を書こう<br>読書に親しむ | ○長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使うことができる。<br>○文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見を持つことができる。<br>○理解したり表現したりするために必要な語句の量を増やし、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 | | | |

# （ 社会科 ）

## １ 教科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を養う。

## ２ 評価について

| 観点 | 評価の観点の趣旨 | 評価の資料 | | | | | 評価にあたって重視することがら（評価規準） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 学習・授業への取り組み | ノート・授業プリント | 調べ学習・発表 | レポート等の課題 | 定期試験・小テスト | |
| 知識・技能 | 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。 | | ○ | ◎ | ○ | ◎ | ○社会的事象に関する基礎的・基本的な知識を習得している。<br>○既得の知識と関連付け、学習内容の深い理解と概念の獲得をしている。<br>○課題の解決に必要な情報を収集する技能、社会的な見方・考え方を働かせた読み取る技能、課題解決に向けてまとめる技能を身に付けている。 |
| 思考・判断・表現 | 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、それらを基に議論したりしている。 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○社会的事象に関する知識や概念を相互に関連付けて、多面的・多角的に考察している。<br>○社会に見られる課題の解決に向けて、自分の意見や考えをまとめている。<br>○自分の意見や考えを資料等を用いて論理的に示したり、根拠を基に意見や考えを他者と伝え合い、発展させたり、合意形成に向かおうとしている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 社会的事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。 | ◎ | ◎ | ○ | ○ | | ○社会的事象について主体的に調べ分かろうとして学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。<br>○よりよい社会の実現に向けて、多面的・多角的に考察したことを社会生活に生かそうとしている。 |

## 3 年間指導計画

### ［第1学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | ［地理］<br>世界の姿<br>日本の姿 | ○緯度と経度，大陸と海洋の分布，主な国々の名称と位置などを基に，世界の地域構成を大観し、理解する。<br>○日本の国土の位置，世界各地との時差，領域の範囲や変化とその特色などを基に，日本の地域構成を大観し理解する。 |
| 5 | ［地理］<br>世界のさまざまな地域<br>「人々の生活と環境」 | ○人々の生活が，自然及び社会的条件から影響を受け，自然及び社会的条件に影響を与えることを理解する。<br>○世界の人々の生活や環境の多様性を理解し、世界の主な宗教の分布についても理解する。 |
| 6 | ［歴史］<br>歴史のとらえ方と調べ方<br>古代国家の成立と東アジア<br>「人類の登場から文明の発生へ」<br>「東アジアの中の倭（日本）」 | ○年代の表し方や時代区分の意味や意義について理解する。<br>○資料から歴史に関わる情報を読み取ったり，年表などにまとめたりするなどの技能を身に付ける。<br>○世界の古代文明や宗教のおこりを基に，世界の各地で文明が築かれたことを理解する。 |
| 7 | 「中国にならった国家づくり」<br>「展開する天皇・貴族の政治」 | ○日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰，大和朝廷（大和政権）による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に，東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成されことを理解する。 |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 8 | ［歴史］<br>古代国家の成立と東アジア<br>「中国にならった国家づくり」<br>「展開する天皇・貴族の政治」 | ○律令国家の確立に至るまでの過程，摂関政治などを基に，東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みが整えられ，その後，天皇や貴族による政治が展開したことを理解する。<br>○仏教の伝来とその影響，仮名文字の成立などを基に，国際的な要素をもった文化が栄え，それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解する。 |
| 9 | ［地理］<br>世界のさまざまな地域<br>「世界の諸地域」<br>・アジア州<br>・ヨーロッパ州<br>・アフリカ州<br>・北アメリカ州<br>・南アメリカ州<br>・オセアニア州 | ○世界各地で顕在化している地球的課題は，それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて，現れ方が異なることを理解する。<br>○アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州に暮らす人々の生活を基に，各州の地域的特色を大観し理解する。<br>○アジア州・ヨーロッパ州・アフリカ州・北アメリカ州・南アメリカ州・オセアニア州の各州において，地域で見られる地球的課題の要因や影響を，州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して，それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し，表現する。<br>○世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 |
| 10 | | |
| 11 | | |
| 12 | | |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 1 | ［歴史］<br>中世　武家政権の成長と東アジア<br>「武士の世の始まり」<br>「武家政権の内と外」<br>「人々の結び付きが強まる社会」 | ○鎌倉幕府の成立，元寇（モンゴル帝国の襲来）などを基に，武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し，その支配が広まったこと，元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解する。<br>○南北朝の争乱と室町幕府，日明貿易，琉球の国際的な役割などを基に，武家政治の展開とともに，東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解する。<br>○農業など諸産業の発達，畿内を中心とした都市や農村における自治的な仕組みの成立，武士や民衆などの多様な文化の形成，応仁の乱後の社会的な変動などを基に，民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解する。 |
| 2 | | |
| 3 | ［歴史］<br>近世　武家政権の展開と世界の動き<br>「大航海によって結び付く世界」<br>「戦乱から全国統一へ」 | ○ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などを基に，近世社会の基礎がつくられたことを理解する。 |

［第2学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | ［歴史］<br>武家政権の展開と世界の動き<br>「大航海によって結び付く世界」<br>「戦乱から全国統一へ」<br>「武士による全国支配の完成」<br>「天下泰平の世の中」<br>「社会の変化と幕府の対策」 | ○ヨーロッパ人来航の背景とその影響，織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係，武将や豪商などの生活文化の展開などを基に，近世社会の基礎がつくられたことを理解する。<br>○江戸幕府の支配の下に大きな戦乱のない時期を迎えたことなど，中世から近世への転換のようすを，中世の武家政治との違いに着目して考察させ，自分の言葉で表現する。<br>○身分制のもとで，人々はそれぞれの身分の中で職分を果たしたこと，農村が幕府や藩の経済を支えていたことなどに気づく。<br>○近世の文化について，大阪・京都・江戸などの都市を舞台に，経済力を高めた町人を担い手とする文化が形成されたことなどを理解する。<br>○貨幣経済の農村への広がりや自然災害などによる都市や農村の変化などをふまえ，近世社会の基礎が動揺していったことに気づく。<br>○財政の悪化などを背景とした幕府の政治改革を取り上げ，百姓一揆などに結びつく農村の変化や商業の発達などへの対応というねらいがあったことに気づく。 |
| 5 | | |
| 6 | ［地理］<br>日本の地域的特色 | ○日本の地形や気候の特色，海洋に囲まれた日本の国土の特色，自然災害と防災への取組などを基に，日本の自然環境に関する特色を理解する。<br>○少子高齢化の課題，国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に，日本の人口に関する特色を理解する。<br>○日本の資源・エネルギー利用の現状，国内の産業の動向，環境やエネルギーに関する課題などを基に，日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解する。 |
| 7 | | |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 8 | ［地理］<br>日本の地域的特色 | ○国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況，これを活用した陸上，海上輸送などの物流や人の往来などを基に，国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解する。<br>○「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ，日本の国土の特色を大観し理解する。 |
| 9 | ［地理］<br>日本の諸地域 | ○(1)から(5)までの考察の仕方を基にして，空間的相互依存作用や地域などに着目して，主題を設けて課題を追究したり解決策を考える活動を通して，次の資質・能力を身に付けることができるようになる。<br>(1)自然環境を中核とした考察の仕方<br>(2)人口や都市・村落を中核とした考察の仕方<br>(3)産業を中核とした考察の仕方<br>(4)交通や通信を中核とした考察の仕方<br>(5)その他の事象を中核とした考察の仕方<br>○日本の諸地域において，(1)から(5)までで扱う中核となる事象の成立条件を，地域の広がりや地域内の結び付き，人々の対応などに着目して，他の事象やそこで生ずる課題と関連付けて多面的・多角的に考察し，表現する。 |
| 10 | | |
| 11 | ［地理］<br>地域の在り方 | ○地域的な課題の解決に向けて考察，構想したことを適切に説明，議論しまとめる手法について理解させる。<br>○地域の在り方を，地域の結び付きや地域の変容，持続可能性などに着目し，課題について多面的・多角的に考察，構想し，表現する。 |
| 12 | ［歴史］<br>近代　近代国家の歩みと国際社会<br>「欧米諸国における「近代化」」 | ○政治体制の変化や人権思想の発達や広がり，現代の政治と関連づけて，アメリカの独立やフランス革命を取り上げ，政治的な対立と社会の混乱，そこで生じた犠牲などを経て近代民主政治への動きが生まれたことに気づく。 |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 1 | ［歴史］<br>近代　近代国家の歩みと国際社会<br>「欧米諸国における「近代化」」<br>「開国と幕府の終わり」<br>「明治政府による「近代化」の始まり」<br>「近代国家への歩み」 | ○工業化による社会の変化という観点から，イギリスなどにおける産業革命を取りあげ，資本主義社会が成立したことや労働問題・社会問題が発生したことに気づく。<br>○産業革命の進展にともなって，欧米諸国が新たな工業製品の市場や工業原料の供給地を求めてアジアへの進出を強めたことを理解する。<br>○欧米諸国のアジア進出と関連づけて取り扱い，アヘン戦争後に幕府が対外政策を転換して開国したことと，その政治的および社会的な影響を理解させ，それが明治維新の動きを生み出したことに気づく。<br>○富国強兵・殖産興業政策の下に新政府が行った，廃藩置県，学制・兵制・税制の改革，身分制度の廃止，領土の画定を取りあげ，学制など今日につながる諸制度がつくられたことや，身分制度の廃止にもかかわらず現実には差別が残ったことに気づく。<br>○自由民権運動の全国的な広まり，政党の結成，憲法の制定過程とその内容の特徴を取り上げ，大日本帝国憲法の制定によって当時アジアで唯一の立憲制の国家が成立したことをふまえ，立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことの歴史上の意義や現代の政治とのつながりに気づく。 |
| 2 | | |
| 3 | | |

［第3学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | ［歴史］<br>近代　近代国家の歩みと国際社会<br>「明治政府による「近代化」の始まり」<br>「近代国家への歩み」<br>「帝国主義と日本」<br>「アジアの強国の光と影」 | ○富国強兵・殖産興業政策の下に新政府が行った，廃藩置県，学制・兵制・税制の改革，身分制度の廃止，領土の画定を取りあげ，学制など今日につながる諸制度がつくられたことに気づく。<br>○大日本帝国憲法の制定によって当時アジアで唯一の立憲制の国家が成立したことを理解する。<br>○欧米諸国と対等の外交関係を樹立するための長年の努力の過程で条約改正が実現したことを理解する。<br>○日清・日露戦争にいたるまでの日本の動き，戦争のあらましと国内外の反応，韓国の植民地化などを取り上げ，日本の国際的地位が向上したことを理解する。 |
| 5 | | |
| 6 | ［歴史］<br>近代　二度の世界大戦と日本<br>「第一次世界大戦と民族独立の動き」<br>「高まるデモクラシーの意識」<br>「戦争に向かう世論」<br>「第二次世界大戦の惨禍」 | ○第一次世界大戦の背景とその影響，民族運動の高まりと国際協調の動き，日本国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に，第一次世界大戦前後の国際情勢及び日本の動きと，大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。<br>①経済の世界的な混乱と社会問題の発生，昭和初期から第二次世界大戦の終結までの日本の政治・外交の動き，中国などアジア諸国との関係，欧米諸国の動き，戦時下の国民の生活などを基に，軍部の台頭から戦争までの経過と，大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解する。 |
| 7 | | |
| | ［歴史］<br>現代　現在に続く日本と世界<br>「敗戦から立ち直る日本」<br>「世界の多極化と日本の成長」<br>「これからの日本と世界」 | ○冷戦，我が国の民主化と再建の過程，国際社会への復帰などを基に，第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解する。<br>○高度経済成長，国際社会との関わり，冷戦の終結などを基に，我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し，国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解する。 |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 8 | ［公民］<br>現代社会と私たち<br>「現代社会の特色と私たち」<br>「私たちの生活と文化」<br>「現代社会の見方や考え方」 | ○ 現代日本の特色として少子高齢化，情報化，グローバル化などが見られることについて理解する。<br>○ 位置や空間的な広がり，推移や変化などに着目して，少子高齢化，情報化，グローバル化などが現在と将来の政治，経済，国際関係に与える影響について多面的・多角的に考察し，表現する。<br>○ 現代社会の見方・考え方の基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などについて理解する。 |
| 9 | | |
| 10 | ［公民］<br>個人の尊重と日本国憲法<br>「人権と日本国憲法」<br>「人権と共生社会」<br>「これからの人権保障」 | ○人権思想の歴史など歴史的分野の学習内容を踏まえて，日本国憲法が基本的人権の尊重，国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解する。<br>○日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。 |
| 11 | ［公民］<br>現代の民主政治と社会<br>「現代の民主政治」<br>「国の政治の仕組み」<br>「地方自治と私たち」 | ○ 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのあらましや政党の役割を理解する。<br>○議会制民主主義の意義，多数決の原理とその運用の在り方について理解する。<br>○国民の権利を守り，社会の秩序を維持するために，法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解する。<br>○地方自治の基本的な考え方について理解し，地方公共団体の政治の仕組み，住民の権利や義務を理解する。 |
| 12 | ［公民］<br>私たちの暮らしと経済<br>「消費生活と市場経済」<br>「生産と労働」 | ○身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解する。<br>○現代の生産などの仕組みや働き，勤労の権利と義務，労働組合の意義及び労働基準法の精神について理解する。 |
| | | |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 1 | ［公民］<br>私たちの暮らしと経済<br>「市場経済の仕組みと金融」<br>「財政と国民の福祉」<br>「これからの経済と社会」 | ○市場経済の基本的な考え方について理解し，市場における価格の決まり方や資源の配分について理解する。<br>○現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解する。<br>○社会資本の整備，公害の防止など環境の保全，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，消費者の保護について，それらの意義を理解する。<br>○財政及び租税の意義，国民の納税の義務について理解する。 |
| 2 | | |
| 3 | ［公民］<br>地球社会と私たち<br>「国際社会の仕組み」<br>「さまざまな国際問題」<br>「これからの地球社会と日本」<br>「より良い社会を目指して」 | ○世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには，国際協調の観点から，国家間の相互の主権の尊重と協力，各国民の相互理解と協力及び国際連合をはじめとする国際機構などの役割が大切であることを理解させる。その際，領土（領海，領空を含む。），国家主権，国際連合の働きなど基本的な事項について理解する。<br>○地球環境，資源・エネルギー，貧困などの課題の解決のために経済的，技術的な協力などが大切であることを理解する。 |

# （ 数学科 ）

## １ 教科の目標

数学的活動を通して、数量や図形などに関する基礎的な概念や原理・法則についての理解を深め、数学的な表現や処理の仕方を習得し、事象を数理的に考察し表現する能力を高めるとともに、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えたり判断したりしようとする態度を育てる。

## ２ 評価について

| 観点 | 評価の観点の趣旨 | 評価の資料 | | | | | | 評価にあたって重視することがら（評価規準） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 学習・授業への取り組み | ノート・プリント | 調べ学習・発表 | レポート・課題 | 小テスト | 定期試験 | |
| 知識・技能 | ・数量や図形についての基礎的な原理・法則などを理解している。<br>・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ・基本的な計算問題や方程式などを解くことができる。<br>・計算や数、図形の性質について、必要性と意味などを理解している。<br>・数量関係を表や式、グラフを用いて表現したり処理したりすることができる。<br>・図形の性質を理解し、それが証明できることを知っている。 |
| 思考・判断・表現 | 数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見い出し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ・既に学習した内容と関連付けて計算の方法を考察し表現することができる。<br>・計算や数、図形の性質について具体的な場面で活用することができる。<br>・文字を用いた式や図形の性質を見いだし、それらを確かめることができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ・計算や数、図形の性質を活用することの必要性や意味を考えたり、それらの関係を見いだそうとしている。<br>・計算や数、図形の性質について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。<br>・計算や数、図形の性質を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとしている。 |

# 数学科　年間指導計画

## ［第1学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | 0章 算数から数学へ<br>3時間 | ・自然数，素数，素因数分解の意味を理解することができる。<br>・素因数分解の一意性を理解し，自然数を素因数分解することができる。<br>・自然数をいくつかの数の積で表すことにより，整数の性質を見いだし表現することができる。 |
| 5 | 1章　数の世界をひろげよう<br>［正負の数］ | ・正負の数の必要性と意味を具体的な場面と結び付けて理解している。<br>・正負の数の大小関係や絶対値の意味を理解することができる。<br>・正負の数の四則計算をすることができる。<br>・具体的な場面で正負の数を用いて表したり処理したりすることができる。<br>・算数で学習した数の四則計算と関連づけて，正負の数の四則計算の方法を考察し表現することができる。<br>・数の集合と四則計算の可能性について捉え直すことができる。<br>・正負の数を活用して様々な事象における変化や状況を考察し表現することができる。 |
| 6 | | |
| 7 | 2章 数学のことばを身につけよう<br>［文字と式］ | ・文字を用いることの必要性と意味を理解している。<br>・文字を用いた式における積や商の表し方を知っている。<br>・文字を用いた式の文字に数を代入して，その式の値を求めることができる。<br>・簡単な1次式の計算をすることができる。<br>・数量の関係や法則などを，文字を用いた式に表すことができることを理解している。<br>・数量の関係や法則などを，文字を用いた式を用いて表したり，読み取ったりすることができる。・具体的な場面と関連づけて，1次式の加法と減法の計算の方法を考察し表現することができる。<br>・文字を用いた式を活用して，具体的な事象を考察し表現することができる。 |
| 8 | 3章　未知の数の求め方を考えよう<br>［方程式］ | ・方程式の必要性と意味を理解している。<br>・方程式の解や等式の性質，移項の意味を理解している。<br>・等式の性質の意味を理解し，等式の性質を用いて方程式を解くことができる。<br>・移項の考えを用いて方程式を解くことができる。<br>・簡単な1次方程式，比例式を解くことができる。<br>・事象の中の数量やその関係に着目し，1次方程式をつくることができる。<br>・1次方程式を用いて具体的な場面の問題解決を行うときの，解の吟味の意味と必要性を理解している。・等式の性質をもとにして，1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。<br>・方程式において，移項できる理由を等式の性質をもとにして考察し表現することができる。<br>・具体的な場面の問題において，1次方程式を活用し，問題を解決することができる。<br>・具体的な場面の問題において，解を吟味して解答としてよいことを判断することができる。 |
| 9 | | |
| 10 | 4章　数量の関係を調べて問題を解決しよう<br>［比例と反比例］ | ・関数関係の意味を理解している。<br>・比例，反比例について理解している。<br>・比例，反比例を表，式，グラフなどに表すことができる。・比例，反比例として捉えられる2つの数量について，表，式，グラフなどを用いて調べ，それらの変化や対応の特徴を見いだすことができる。<br>・比例，反比例を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 |
| 11 | 5章　平面図形の見方をひろげよう<br>［平面図形］ | ・平行移動，対称移動及び回転移動について理解している。<br>・平面図形に関する用語や記号の意味と使い方を理解している。<br>・角の二等分線，線分の垂直二等分線，垂線などの基本的な作図の方法を理解している。<br>・おうぎ形の弧の長さと面積を求めることができる。・図形の移動に着目し，2つの合同な図形の関係について考察し表現することができる。<br>・線対称な図形の性質をもとにして，基本的な作図の方法を考察し表現することができる。<br>・図形の移動や基本的な作図を具体的な場面で活用することができる。 |
| 12 | | |
| 1 | 6章　立体の見方をひろげよう<br>［空間図形］ | ・空間における直線や平面の位置関係を理解している。<br>・立体図形の展開図や投影図について理解している。<br>・柱体や錐体，球の表面積と体積を求めることができる。<br>・空間図形を直線や平面図形の運動によって構成されるものと捉えることができる。<br>・空間図形を平面上に表現して平面上の表現から空間図形の性質を見いだすことができる。<br>・立体図形の表面積や体積の求め方を考察し表現することができる。 |
| 2 | 7章　データを活用して判断しよう<br>［データの分析と活用］ | ・ヒストグラムや相対度数などの必要性と意味を理解している。<br>・累積度数，累積相対度数の必要性と意味を理解している。<br>・代表値や範囲の必要性と意味を理解している。<br>・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを表やグラフに整理することができる。<br>・多数の観察や多数回の試行によって得られる確率の必要性と意味を理解している。<br>・目的に応じてデータを収集して分析し，そのデータの分布の傾向を読み取り，批判的に考察し判断することができる。<br>・多数の観察や多数回の試行の結果をもとにして，不確定な事象の起こりやすさの傾向を読み取り表現することができる。 |
| 3 | 予備時間 | |
| | 数学の自由研究 | |

［第2学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | 1章　文字式を使って説明しよう［式の計算］ | ・簡単な整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算をすることができる。<br>・具体的な事象の中の数量の関係を文字を使った式で表したり，式の意味を読み取ったりすることができる。<br>・文字を使った式で数量及び数量の関係を捉え説明できることを理解している。<br>・目的に応じて，簡単な式を変形することができる。<br>・具体的な数の計算や既に学習した計算の方法と関連付けて，整式の加法と減法及び単項式の乗法と除法の計算の方法を考察し表現することができる。<br>・文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。 |
| 5 | | |
| 6 | 2章　方程式を利用して問題を解決しよう［連立方程式］ | ・2元1次方程式とその解の意味を理解している。<br>・連立2元1次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。<br>・簡単な連立2元1次方程式を解くことができる。<br>・1元1次方程式と関連付けて，連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。<br>・連立2元1次方程式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。 |
| 7 | 3章　関数を利用して問題を解決しよう［1次関数］ | ・1次関数について理解しすることができる。<br>・事象の中には1次関数として捉えられるものがあることを知ることができる。<br>・2元1次方程式を関数を表す式とみることができる。<br>・1次関数の変化の割合やグラフの切片と傾きの意味を理解することができる。 |
| 8 | | ・1次関数の関係を表，式，グラフを用いて表現したり，処理したりすることができる。<br>・1次関数として捉えられる2つの数量について，変化や対応の特徴を見いだし，表，式，グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。<br>・1次関数を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 |
| 9 | | |
| 10 | 4章　関数の世界をひろげよう［関数y＝ax^2］ | ・多角形の角についての性質が見いだせることを知っている。<br>・平行線や角の性質を理解している。<br>・平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解している。<br>・証明の必要性と意味及びその方法について理解している。・基本的な平面図形の性質を見いだし，平行線や角の性質をもとにしてそれらを確かめ，説明することができる。 |
| 11 | | |
| 12 | 5章　平面図形の見方をひろげよう［平面図形］ | ・証明の必要性と意味及びその方法について理解している。<br>・定義やことがらの仮定と結論，逆の意味を理解している。<br>・反例の意味を理解している。<br>・正方形，ひし形，長方形が平行四辺形の特別な形であることを理解している。<br>・三角形の合同条件などをもとにして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。<br>・証明を読んで新たな性質を見いだし，表現することができる。<br>・三角形や平行四辺形の基本的な性質などを活用して具体的な事象を考察し，表現することができる。<br>・ことがらが正しくないことを証明するために，反例をあげることができる。 |
| 1 | 6章　立体の見方をひろげよう［空間図形］ | ・多数回の試行によって得られる確率と関連付けて，場合の数をもとにして得られる確率の必要性と意味を理解している。<br>・簡単な場合について確率を求めることができる。・同様に確からしいことに着目し，場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し表現することができる。<br>・確率を用いて不確定な事象を捉え，考察し表現することができる。 |
| 2 | 7章　データを活用して判断しよう［データの分析と活用］ | ・四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解している。<br>・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すことができる。<br>・四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り，批判的に考察し判断することができる。 |
| 3 | 予備時間 | |
| | 数学の自由研究 | |

［第3学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | 1章　文字式を使って説明しよう<br>[多項式] | ・単項式と多項式の乗法及び多項式を単項式で割る除法の計算をすることができる。<br>・簡単な1次式の乗法の計算及び次の公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。<br>(x＋a)(x＋b)＝x2＋(a＋b)x＋ab<br>(x＋a)2＝x2＋2ax＋a2<br>(x－a)2＝x2－2ax＋a2<br>(x＋a)(x－a)＝x2－a2<br>・既に学習した計算の方法と関連付けて，式の展開や因数分解する方法を考察し表現することができる。<br>・文字を用いた式を活用して数量及び数量の関係を捉え説明することができる。 |
| 5 | | |
| 6 | 2章　数の世界をさらにひろげよう<br>[平方根] | ・数の平方根の必要性と意味を理解している。<br>・有理数，無理数の意味を理解している。<br>・数の平方根をふくむ簡単な式の計算をすることができる。<br>・具体的な場面で数の平方根を用いて表したり処理したりすることができる。・これまでに学んだ文字式の計算などと関連付けて，数の平方根をふくむ式の計算の方法を考察し表現することができる。<br>・数の平方根を具体的な場面で活用することができる。 |
| 7 | | |
| | 3章　方程式を利用して問題を解決しよう<br>[2次方程式] | ・2次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解している。<br>・平方の形に変形し2次方程式を解くことができる。<br>・解の公式の意味を理解し，それを用いて2次方程式を解くことができる。<br>・因数分解を利用して2次方程式を解くことができる。 |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 8 | | ・事象の中の数量やその関係に着目し，2次方程式をつくることができる。<br>・平方根や因数分解の考えをもとにして，2次方程式を解く方法を考察し表現することができる。<br>・具体的な問題の解決に2次方程式を活用し，解が適切であるかどうかを判断することができる。 |
| 9 | 4章　関数の世界をひろげよう<br>[関数y＝ax^2] | ・関数 y＝ax^2について理解している。<br>・事象の中には関数y＝ax^2として捉えられるものがあることを知っている。<br>・関数y＝ax^2を表，式，グラフを用いて表現したり，処理したりすることができる。<br>・いろいろな事象の中に，関数関係があることを理解している。<br>・関数 y＝ax^2として捉えられる2つの数量について，変化や対応の特徴を見いだし，表，式，グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。<br>・関数 y＝ax^2を用いて具体的な事象を捉え考察し表現することができる。 |
| 10 | | |
| 11 | 5章　形に着目して図形の性質を調べよう<br>[相似な図形] | ・平面図形の相似の意味及び三角形の相似条件について理解している。<br>・相似な平面図形の相似比と面積比の関係について理解している。<br>・基本的な立体の相似の意味を理解し，相似な立体の相似比と表面積の比や体積比の関係について理解している。<br>・誤差，有効数字の意味を理解し，近似値をa×10nの形に表現することができる。<br>・三角形の相似条件などを基にして図形の基本的な性質を論理的に確かめることができる。<br>・平行線と線分の比についての性質を見いだし，それらを確かめることができる。<br>・相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。 |
| 12 | | |
| | 6章　円の性質を見つけて証明しよう<br>[円] | ・円周角と中心角の関係の意味を理解し，それが証明できることを知っている。<br>・円周角の定理の逆が成り立つことを知っている。・円周角と中心角の関係を見いだすことができる。<br>・円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。 |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 1 | 7章　三平方の定理を活用しよう<br>[三平方の定理] | ・三平方の定理の意味を理解し，それが証明できることを知っている。<br>・三平方の定理を利用して，直角三角形の辺の長さを求めることができる。<br>・三平方の定理の逆が成り立つことを知っている。<br>・三平方の定理を見いだすことができる。<br>・三平方の定理を具体的な場面で活用することができる。 |
| 2 | 8章　集団全体の傾向を推測しよう<br>[標本調査] | ・標本調査の必要性と意味を理解している。<br>・コンピュータなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し，整理することができる。<br>・標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現することができる。<br>・簡単な場合について標本調査を行い，母集団の傾向を推定し判断することができる。 |
| 3 | 予備時間 | |
| | 数学の自由研究 | |

# （ 理科 ）

## １ 教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験をを行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を育成する。

## ２ 評価について

| 観点 | 評価の観点の趣旨 | 評価の資料 | | | | | 評価にあたって重視することがら（評価規準） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 学習・授業への取り組み | ノート・授業プリント | 調べ学習・発表 | レポート等の課題 | 定期試験・小テスト | |
| 知識・技能 | 自然の事物・現象について，基本的な概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。観察，実験を行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。 | | ◎ | ○ | ◎ | ◎ | ・観察、実験にもとづき、科学的な考察を行うことができる。<br>・実験の結果を報告書にまとめ、発表することができる。<br>・測定器具等を正しく使うことができ、実験結果をグラフ等でまとめて表現することができる。<br>・自然事物や事象について関心をもち、意欲的に観察や実験を行い、日常生活に関連づけて考察する。 |
| 思考・判断・表現 | 自然の事物・現象の中に問題を見いだし，目的意識をもって観察，実験などを行い，事象や結果を分析して解釈し，表現している。 | | ○ | ◎ | ◎ | ◎ | ・観察や実験を通して学習内容を理解し、自分の言葉で説明することができる。<br>・観察、実験にもとづき、科学的な考察を行うことができる。<br>・実験の結果を報告書にまとめ、発表することができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 自然の事物・現象に進んでかかわり，それらを科学的に探究するとともに，事象を人間生活とのかかわりでみようとする。 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ・教科書ノート、問題集筆記用具等を用意し積極的に学習活動に参加できる。<br>・自然事物や事象について関心をもち、意欲的に観察や実験を行い、日常生活に関連づけて考察する。<br>・実験レポートなど提出物に意欲的に取り組んでいる。 |

## 3 年間指導計画

［第1学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | 自然の中にあふれる生命<br>(9)<br><br>[生命]いろいろな生物とその共通点<br>(18+1)<br>1章 植物の特徴と分類 (7)<br><br>2章 動物の特徴と分類 (9) | 観察器具の操作，観察記録のしかたなどの技能を身につけ，いろいろな生物を比較して共通点や相違点をもとにして分類できることを理解し、興味・関心を高める。<br><br>植物の観察記録より，植物の体の基本的なつくりを理解し，共通点や相違点から分類できることを理解する。<br>植物に対する興味・関心をもち，観察上の注意点を考える力を身につけること。<br><br>動物の観察記録より，共通点や相違点があることを見いだして，動物の体の基本的なつくりを理解すること。また，その共通点や相違点から分類できることを見いだして理解する。<br>動物に対する興味・関心を高め，動物を観察上の注意点にを考える力を身につけること。 |
| 5 | | |
| 6 | | |
| 7 | [物質]身のまわりの物質<br>(26+2)<br>1章 いろいろな物質とその性質 (7)<br><br>2章 いろいろな気体とその性質 (5) | 物質の性質を調べる実験を行い，物質には固有の性質と共通の性質があることを見いだして理解させ，実験器具の操作，記録のしかたなどの技能を身につけさせる。<br><br>気体の性質を調べる実験を行い，気体の種類による特性を理解させるとともに，気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につけさせる。 |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 8 | [物質]<br>身のまわりの物質<br>(26+2)<br>3章 水溶液の性質 (6)<br><br>4章 物質のすがたとその変化 (6) | 物質が水に溶ける際の水溶液の均一性を，粒子のモデルで理解させる。また，水溶液から溶質を取り出す実験を行い，その結果を溶解度と関連づけて理解させる。<br><br>物質の状態変化についての観察，実験を行い，状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだして理解させる。また，物質の融点や沸点を境に状態が変化することを知るとともに，混合物を加熱する実験を行い，沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだして理解させる。 |
| 9 | | |
| 10 | | |
| 11 | [地球]<br>活きている地球<br>(22+2)<br>1章 身近な大地 (3)<br><br>2章 ゆれる大地 (4)<br>3章 火をふく大地 (7)<br><br>4章 語る大地 (6) | 地形などの観察から，大地の成り立ちなどを理解させ，観察器具の基本的な扱い方などを身につけさせる。<br>地震のゆれの特徴を理解させ，記録の分析により地震のゆれの伝わり方の規則性を見いださせる。また，地震の原因などを理解させる。<br><br>火山の活動はマグマの性質が深く関係していることを考察させるとともに，火成岩の特徴を，成因と関連づけて理解させる。<br><br>地層が堆積した時代や当時の環境を推測させたりすることを通じて，地層のでき方を理解させる。また，プレートと火山活動や地震などとの関連をにとらえさせ，大地からの恵みや災害について理解させる。 |
| 12 | | |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 1 | [エネルギー]<br>光・音・力による現象<br>(24+1)<br>1章 光による現象 (8) | 光の反射や屈折の実験を行い，光が水やガラスなどの物質の境界面で反射，屈折するときの規則性を見いださせる。また，凸レンズのはたらきについての実験を行い，物体の位置と像の位置および像の大きさや向きの関係を見いださせる。 |
| 2 | 2章 音による現象 (5)<br><br>3章 力による現象 (9) | 音についての実験を行い，音はものが振動することによって生じること，音は波として空気中を約340m/sの速さで伝わること，および音の大きさや高さは音源の振動のしかたに関係することを見いださせる。<br><br>物体に力をはたらかせる実験を行い，物体に力がはたらくとその物体が変形したり，動き始めたり，運動のようすが変わったりすることを見いださせるとともに，力は大きさと向きによって表されることを理解させる。また，2力のつり合いの実験を行い，1つの物体にはたらく2力がつり合う条件を見いだし理解させる。 |
| 3 | | |

［第2学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | 化学変化と原子・分子<br>1章 物質の成り立ち<br>2章 物質の表し方<br>3章 さまざまな化学変化<br>4章 化学変化と物質の質量 | 1章 物質の成り立ち<br>実験を行い，分解した物質からもとの物質の成分が推定する。物質は原子や分子からできていることを認識させる。<br>2章 物質の表し方<br>原子や分子は元素記号で表すことができ，分子を化学式で示すことができるようにする。また，化学式・化学反応式によって，物質の組成や化学変化を表すことができるようにする。<br>3章 さまざまな化学変化<br>実験を行い，反応前とは異なる物質が生成することを見いださせる。また，化学変化を原子・分子のモデルを用いて説明できるようにする。また，化学変化に伴う熱の出入りについても認識させる。<br>4章 化学変化と物質の質量<br>実験を行い，化学変化の前後では物質の質量の総和が等しいこと，反応する物質の質量の間には一定の関係があることを見いださせる。 |
| 5 | | |
| 6 | | |
| 7 | 生物の体のつくりとはたらき<br>1章 生物の体をつくるもの<br>2章 植物の体のつくりとはたらき | 1章 生物の体をつくるもの<br>生物の組織などの観察を行い，生物の体が細胞からできていること，および植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだし理解させる。<br>2章 植物の体のつくりとはたらき<br>植物の葉や茎，根のつくりについての観察を行い，それらのつくりと，光合成，呼吸，蒸散のはたらきに関する実験の結果とを関連づけて理解させる。 |
| | | |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 8 | 生物の体のつくりとはたらき<br>3章 動物の体のつくりとはたらき<br>4章 動物の行動のしくみ | 3章 動物の体のつくりとはたらき<br>消化や呼吸，血液の循環についての観察・実験を行い，必要な物質を取り入れ運搬しているしくみを観察・実験の結果と関連づけて理解させる。<br>4章 動物の行動のしくみ<br>動物が外界の刺激に反応する様子の観察を行い，感覚器官，神経、運動器官のつくりと関連づけて理解させる。 |
| 9 | | |
| 10 | 電流とその利用<br>1章 電流の性質<br>2章 電流の正体<br>3章 電流と磁界 | 1章 電流の性質<br>回路の基本的な性質や，電圧と電流の関係について規則性を見いださせるとともに，実験機器の操作や実験結果の処理についての技能を習得させる。<br>2章 電流の正体<br>日常生活と関連づけながら静電気の性質について調べさせ，静電気と電流には関係があることを見いださせ，真空放電の実験から，電流の正体について理解させる。<br>3章 電流と磁界<br>日常生活と関連づけながら，電流の磁気作用や電流と磁界との相互作用を理解させ，直流と交流の違いを捉えさせる。 |
| 11 | | |
| 12 | | |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 1 | 地球の大気と天気の変化<br>1章 地球をとり巻く大気のようす<br>2章 大気中の水の変化<br>3章 天気の変化と大気の動き<br>4章 大気の動きと日本の四季 | 1章 地球をとり巻く大気のようす<br>地表にあるもののすべてに大気圧がはたらいていることを理解させ，身のまわりの大気の存在を認識させる。また，身のまわりの大気の状態を継続的に観測させて，気象要素の変化と天気の変化の関係を見いださせる。<br>2章 大気中の水の変化<br>霧や雲のでき方を，空気中の水の変化と関連づけて理解させる。また，地球上の水がさまざまな状態で存在し，霧，雲，雨や雪はその循環の一部であることを認識させる。<br>3章 天気の変化と大気の動き<br>気圧配置によって，大気の動きが生じることを理解させる。また，日本付近の高気圧や低気圧の移動と，それに伴う天気の変化を，地球規模の大気の動きの一部として捉えさせる。<br>4章 大気の動きと日本の四季<br>大陸と海洋の温度差によって生じる大気の動きが，日本の気象に影響を与えることを理解させる。さらに，日本付近で盛衰する3つの気団と関連づけながら，日本の四季の天気の特徴とそれが生じるしくみを理解させる。 |
| 2 | | |
| 3 | | |
| | | |
| | | |
| | | |

［第3学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 運動とエネルギー<br>1章 力のつり合い<br>2章 物体の運動<br>3章 仕事とエネルギー<br>4章 多様なエネルギーとその移り変わり<br>5章 エネルギー資源とその利用 | 1章 力のつり合い<br>水中にある物体には浮力がはたらくことを見いださせ，重力と浮力のつり合いの関係から，浮き沈みのしくみを理解させる。<br>2章 物体の運動<br>記録タイマーなどを使って，物体の速さや運動の様子を調べる方法を身につけさせ，物体にはたらく力と運動の関係を理解させる。<br>3章 仕事とエネルギー<br>仕事の定義を理解させ，仕事の原理を見いださせる。<br>4章 多様なエネルギーとその移り変わり<br>身のまわりのさまざまなエネルギーについて気づかせる。<br>5章 エネルギー資源とその利用<br>人間は多様なエネルギー資源を消費して活動していることを知り，将来にわたってエネルギー資源を確保し，安全で有効な利用と環境保全をはかることの重要性を認識させる。 | 8 | 生命の連続性<br>1章 生物のふえ方と成長<br>2章 遺伝の規則性と遺伝子<br>3章 生物の種類の多様性と進化 | 1章 生物のふえ方と成長<br>生殖の観察などを通して，生物のふえ方には，無性生殖と有性生殖の2つがあることを見いだし，その違いを理解させる。<br>2章 遺伝の規則性と遺伝子<br>生物がふえていくとき，染色体にある遺伝子を介して親から子へ形質が伝わること，そしてその伝わり方に規則性があることを理解させる。<br>3章 生物の種類の多様性と進化<br>現存の生物や化石の比較などを通して、現存の多様な生物は過去の生物が長い時間の経過の中で変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連づけて理解させる | 1 | 宇宙を観る<br>1章 地球から宇宙へ<br>2章 太陽と恒星の動き<br>3章 月と金星の動きと見え方 | 1章 地球から宇宙へ<br>太陽の観察を行い，その観察記録や資料から，太陽の形や大きさ，表面の様子などの特徴を見いだして理解させたり，観測資料などから，惑星と恒星の特徴や太陽系の構造を理解させる。<br>2章 太陽と恒星の動き<br>太陽や星座の日周運動の観察を行い，天体の日周運動が地球の自転による相対運動であることを理解させる。<br>3章 月と金星の動きと見え方<br>月や金星の動きや見え方の観察を行い，月や金星の観察記録などから，見え方を月や金星の公転と関連づけて理解させる。 |
| 5 | | | 9 | | | 2 | | |
| 6 | | | 10 | 化学変化とイオン<br>1章 水溶液とイオン<br>2章 電池とイオン<br>3章 酸・アルカリと塩 | 1章 水溶液とイオン<br>水溶液の電気伝導性を調べる実験を行い，水溶液には電流が流れるものと流れないものがあることを見いだして理解させ、電解質水溶液の電気分解の実験を行い，電極に物質が生成することからイオンの存在を見いださせ，イオンの生成が原子の成り立ちに関係することを理解させる。<br>2章 電池とイオン<br>電池を製作し，電池では化学エネルギーが電気エネルギーに変換されていることに気づかせるとともに，イオンのモデルを用いて電池の基本的な仕組みが説明できるようにする。<br>3章 酸・アルカリと塩<br>中和反応の実験により，酸とアルカリが反応すると塩と水ができることを見いださせるとともに，中和反応をイオンのモデルを使って説明できるようにする。 | 3 | 1章 自然界のつり合い<br>2章 さまざまな物質の利用と人間<br>3章 科学技術と人間<br>4章 人間と環境<br>5章 持続可能な社会をめざして | 1章 自然界のつり合い<br>生物がつり合いを保って生活していることを観察を通して見いだし理解させる。<br>2章 さまざまな物質の利用と人間<br>物質を有効利用するため，物質の再利用などが大切であることに気づかせる。<br>3章 科学技術と人間<br>これからの科学技術の発展の方向性を，科学的根拠をもって検討させる。<br>4章 人自然を多面的，総合的に捉え，自然と人間の関わり方について，科学的に考察して判断する能力や態度を身につけさせる。<br>5章 持続可能な社会をめざして<br>持続可能な社会をつくることの重要性を認識させる。 |
| 7 | 生命の連続性<br>1章 生物のふえ方と成長<br>2章 遺伝の規則性と遺伝子<br>3章 生物の種類の多様性と進化 | | 11 | | | | | |
| | | | 12 | | | | | |

# （ 音楽科 ）

## １ 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質能力を育成することを目指す。

## ２ 評価について

| 観点 | 評価の観点の趣旨 | 評価の資料 | | | | | 評価にあたって重視することがら（評価規準） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 学習・授業への取組 | ワークシートプリント | 歌唱・器楽実技 | 創作作品レポート | 定期試験 | |
| 知識・技能 | ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。<br>・創意工夫を生かした音楽表現をするための必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり、楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。<br>○創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な奏法、身体の使い方、全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて歌ったり演奏したりする技能を身に付けている。<br>○音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解している。<br>○旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。<br>○音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解している。<br>○我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 |
| 思考・判断・表現 | 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関りについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ◎ | ○音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、<br>・曲にふさわしい歌唱・器楽表現・創作表現を創意工夫している。<br>・曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。<br>・生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。<br>・音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ○音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に、<br>・曲にふさわしい表現を創意工夫して、歌唱、演奏、まとまりのある音楽をつくる学習活動に取り組もうとしている。<br>・音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴く学習活動に取り組もうとしている。<br>・我が国や諸外国の音楽の特徴を理解し味わう学習活動に取り組もうとしている。 |

## 3 年間指導計画

［第1学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | 曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して歌おう。<br>・校歌、横浜市歌、国歌 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、表現を創意工夫して歌う。 |
| 5 | 曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して演奏しよう。<br>・喜びの歌、さんぽ道 | 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解しながら、奏法、身体の使い方などを身に付け、表現を創意工夫して演奏する。 |
| 6 | 音楽の特徴を自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴こう。<br>・魔王 | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 |
| | 曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して歌おう。<br>・浜辺の歌、主人は冷たい土の中に | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、表現を創意工夫して歌う。 |
| 7 | 創意工夫を生かし、音楽をつくろう。<br>・リズム創作をもとに音をつなげる | 音のつながり方、音素材及び音の重なり方や構成上の特徴を理解しながら、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどを行い、創作表現を創意工夫して、旋律や音楽をつくる。 |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 8 | 曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して演奏しよう。<br>・かっこう、聖者の行進 | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の音などを聴いて、他者と合わせて演奏する。 |
| 9 | 曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して歌おう。<br>・エーデルワイス | 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、表現を創意工夫して歌う。 |
| | **音楽の特徴を自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴こう。<br>・和声と創意の試み第1集四季より春** | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 |
| 10 | **曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して歌おう。<br>・合唱曲** | 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。 |
| | 曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して歌おう。<br>・合唱曲 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。 |
| 11 | **我が国や諸外国の音楽の特徴を感じ取り味わおう。<br>・たこたこあがれ、ほたるこい、ソーラン節** | **我が国や諸外国の様々な音楽を鑑賞したり、和楽器を演奏したり、歌ったりしながら、そのよさや特徴を感じ取り、味わう。** |
| | **曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して歌おう。<br>・赤とんぼ** | 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、表現を創意工夫して歌う。 |
| 12 | **音楽の特徴を自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴こう。<br>・箏曲　六段の調べ** | **曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。** |
| | **我が国や諸外国の音楽の特徴を感じ取り味わおう。<br>雅楽　越天楽** | **音楽を形づくっている要素や構造とのかかわりを感じとって聴き、言葉で説明するなどして、音楽の良さや美しさを味わう。** |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 1 | **我が国や諸外国の音楽の特徴を感じ取り味わおう。<br>・アジアの諸民族の音楽** | **我が国や諸外国の様々な音楽を鑑賞したり、和楽器を演奏したり、歌ったりしながら、そのよさや特徴を感じ取り、味わう。** |
| | **創意工夫を生かし、音楽をつくろう。<br>・場面の変化に合わせて音楽をつくる** | **音のつながり方、音素材及び音の重なり方や構成上の特徴を理解しながら、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどを行い、創作表現を創意工夫して、旋律や音楽をつくる。** |
| 2 | **音楽の特徴を自分なりに考え、よさや美しさを味わって聴こう。<br>・カルメンより前奏曲** | **曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。** |
| | **曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して演奏しよう。<br>・アニーローリー、虹の彼方に** | **楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解しながら、奏法、身体の使い方などを身に付け、表現を創意工夫して演奏する。** |
| 3 | **曲の特徴を生かし、表現を創意工夫して歌おう。<br>・合唱曲** | **曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。** |

［第2学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | 曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう。<br>・夢の世界を | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。 |
| 5 | 曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏しよう。<br>・ラヴァーズコンチェルト | 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解しながら、奏法、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏する。 |
| 6 | 音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう。<br>・フーガト短調 | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 |
| 7 | 曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう。<br>・夏の思い出 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。 |
| | 音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう。<br>・交響曲第5番ハ短調 | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 |
| | 曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう。<br>・サンタルチア | 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。 |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 8 | 創意工夫を生かし、まとまりのある音楽をつくろう。<br>・リズムアンサンブル | 音階や言葉、音のつながり方、音素材及び音の重なり方や構成上の特徴を理解しながら、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどを行い、まとまりのある創作表現を創意工夫して、旋律や音楽をつくる。 |
| 9 | | |
| | 曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう。<br>・やさしさにつつまれたなら | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。 |
| 10 | | |
| | 曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう。<br>・夏の日の贈り物<br>・合唱曲 | 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。 |
| 11 | 音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう。<br>・アイーダ | 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりを理解し、生活や社会における音楽の意味や役割について考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 |
| | 曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう。<br>・荒城の月 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。 |
| 12 | 我が国や諸外国の音楽の特徴を理解し味わおう。<br>・ひらいたひらいた（篠笛） | 我が国や諸外国の様々な音楽を鑑賞したり、和楽器を演奏したり、歌ったりしながら、そのよさや特徴を理解し、味わう。 |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 1 | 曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏しよう。<br>・威風堂々 | 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の音などを聴いて、他者と合わせて演奏する。 |
| | 音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう。<br>・文楽 | 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と多様性について理解し、音楽表現の共通性や固有性について考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 |
| 2 | 我が国や諸外国の音楽の特徴を理解し味わおう。<br>・歌舞伎　勧進帳 | 我が国や諸外国の様々な音楽を鑑賞したり、和楽器を演奏したり、歌ったりしながら、そのよさや特徴を理解し、味わう。 |
| | 曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏しよう。<br>・ふるさと | 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の音などを聴いて、他者と合わせて演奏する。 |
| 3 | 創意工夫を生かし、まとまりのある音楽をつくろう。<br>・旋律創作 | 音階や言葉、音のつながり方、音素材及び音の重なり方や構成上の特徴を理解しながら、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどを行い、まとまりのある創作表現を創意工夫して、旋律や音楽をつくる。 |
| | 曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう。<br>・合唱曲 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。 |

［第3学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | 曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう。<br>・花 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。 |
| | 曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏しよう。<br>・春 | 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解しながら、奏法、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏する。 |
| 5 | 音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう。<br>・ボレロ | 曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 |
| 6 | 曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう。<br>・帰れソレントへ | 声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。 |
| | 創意工夫を生かし、まとまりのある音楽をつくろう。<br>・和音進行に合う旋律を作る | 音階や言葉、音のつながり方、音素材及び音の重なり方や構成上の特徴を理解しながら、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどを行い、まとまりのある創作表現を創意工夫して、旋律や音楽をつくる。 |
| 7 | 曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏しよう。<br>・星の世界 | 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解しながら、奏法、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏する。 |
| 8 | 曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう。<br>・花の街 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。 |
| 9 | 曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう。<br>・合唱曲 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。 |
| 10 | 曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう。<br>・合唱曲 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。 |
| 11 | 音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう。<br>・ブルタバ | 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりを理解し、生活や社会における音楽の意味や役割について考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 |
| 12 | 曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう。<br>・早春賦、椰子の実 | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、発声、言葉の発音、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して歌う。 |
| | 創意工夫を生かし、まとまりのある音楽をつくろう。<br>・ボディパーカッション | 音階や言葉、音のつながり方、音素材及び音の重なり方や構成上の特徴を理解しながら、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどを行い、まとまりのある創作表現を創意工夫して、旋律や音楽をつくる。 |
| 1 | 音楽の特徴を考え、よさや美しさを味わって聴こう。<br>・尺八曲 巣鶴鈴慕 | 我が国や郷土の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と多様性について理解し、音楽表現の共通性や固有性について考えながら、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 |
| | 曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏しよう。<br>・さくら（篠笛） | 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解しながら、奏法、身体の使い方などを身に付け、曲にふさわしい表現を創意工夫して演奏する。 |
| 2 | 我が国や諸外国の音楽の特徴を理解し味わおう。<br>・能、狂言 | 我が国や諸外国の様々な音楽を鑑賞したり、和楽器を演奏したり、歌ったりしながら、そのよさや特徴を理解し、味わう。 |
| | 我が国や諸外国の音楽の特徴を理解し味わおう。<br>・アメージンググレイス | 我が国や諸外国の様々な音楽を鑑賞したり、和楽器を演奏したり、歌ったりしながら、そのよさや特徴を理解し、味わう。 |
| 3 | 曲にふさわしい表現を創意工夫して歌おう。<br>・旅立ちの日に | 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解しながら、全体の響きや各声部の声などを聴いて、他者と合わせて歌う。 |

# （ 美術科 ）

## １ 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な物の見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。

## ２ 評価について

| 観点 | 評価の観点の趣旨 | 評価の資料 | | | | | 評価にあたって重視することがら（評価規準） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 学習・授業への取り組み | 授業プリント | 調べ学習・発表 | 作品等の課題 | 定期試験・小テスト | |
| 知識・技能 | ・対象や事象をとらえる造形的な視点について理解している。<br>・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ・造形的な視点について、美術科における知識として表現及び鑑賞の活動を通して理解している。<br>・発想や構想したことを基に意図に応じ表方法を見つけるため、様々な技法を応用したり工夫を繰り返したりして、自分にとってさらに良い表現を創出技能を働かせている。 |
| 思考・判断・表現 | 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりする。 | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ・自らが感じ取ったことや考えたこと、目的や条件を基に強く表したいことを心の中に思い描いている。<br>・様々な表現方法を考え、より良い表現を求め豊かに発想し構想している。<br>・形や色の構成などを工夫し、用途や機能、使用する者の気持ちなどを考え、豊かに発想し構想して、想像力、造形感覚などを働かせ、創意工夫し、美しく表すことができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。 | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ○ | ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。<br>・「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」の資質・能力を学習活動の中で楽しく身に付けようとしたり、発揮しようとしたりすることへ向かう態度。 |

## ３ 年間指導計画

［第1学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | ガイダンス<br>身近な物のスケッチ | ・表現に興味を持ち、図法や技法を意欲的に学び、絵に表す楽しさを味わおうとしている。 | 8 | 夏休みの課題<br>「身近な美しいもの発見」の発表<br><br><br><br>色彩の整理 | ・身のまわりの色に興味を持ち、その特徴や効果について考えようとすることができる。<br><br>・三原色の組み合わせから自由に色を作り出すそうと考えることができる。<br><br>・感情効果に見合った色の組み合わせを考えることができる。 | 1 | レターナイフの制作<br>（板で作る木工芸。使いやすく楽しい形になるよう、レターナイフの デザインを考え制作する） | ・工芸の制作に関心を持ち進んでに制作に取り組もうとする。<br><br>・使って楽しく、美しい造形を、工夫し構想することができる。<br><br>・木材や道具の使い方を理解し自分なりに工夫して制作することができる。<br><br>・手順を追って、安全に制作を進めることができる。<br><br>・作品を鑑賞して、そのよさや美しさを味わうことができる。 |
| 5 | 「空き缶」スケッチ<br>（水彩画で空き缶を本物そっくりに描いてみる） | ・水彩絵の具の特性を理解し適切に彩色することができる。<br><br>・感情効果に見合った色を作り出すことができる。 | 9 | 特別教室の絵文字表示 | ・文字を美しくデザインすることに興味を持ち、楽しさを味わおうとしている。<br><br>・文字をバランスよく美しくデザインしようと考えることができる。<br><br>・アクリルガッシュの特性を理解し適切に彩色することができる。<br><br>・作品を鑑賞して、そのよさや美しさを味わうことができる。 | 2 | 作品鑑賞 | |
| 6 | 紙粘土で立体的なスケッチ（軽量紙粘土でモチーフを本物そっくりに作ってみる） | ・モチーフの立体としてのよさや美しさを感じ取り、進んで製作に 取り組もうとする。<br><br>・対象をよく観察し、対象の持つ良さや美しさを自分らしく工夫して、構想を練ることができる。 | 10 | | | 3 | オリジナルカップ麺のデザイン | ・他者に思いや情報を伝 えるための表現方法や構 成、創意工夫の仕方に関 心を持ち、表現に生かそうとする。<br><br>・デザインの機能や 効果を考え、独創的に作品の構想を練ることができる。 |
| 7 | | ・素材や道具の特性を生かし効果的に表現することができる。<br><br>・作品を鑑賞して、そのよさや美しさを味わうことができる。 | 11 | | | | | |
| | | | 12 | 作品鑑賞 | | | | |

［第2学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | パッケージのデザイン<br>（自分で考えた架空のカップ麺の商品について、内容に合ったデザインを考え、パッケージを制作し、プレゼン発表する） | ・他者に思いや情報を伝 えるための表現方法や構 成、創意工夫の仕方に関 心を持ち、表現に生かそうとする。<br><br>・デザインの機能や 効果を考え、独創的に作品の構想を練ることができる。<br><br>・形や色彩、材料や用具を効果的に用いることができる。<br>・内容に合う表現手段を工夫して表現できる。<br>・作品を鑑賞して、そのよさや美しさを味わうことができる。 | 8 | 「オリジナルカップ麺の企画」プレゼンテーションの発表 | ・他者に思いや情報を伝 えるための表現方法や構 成、創意工夫の仕方に関 心を持ち、表現に生かそうとする。 | 1 | 線で表す<br>(写真を元にしてペン(線)だけで風景や静物を表現する。) | ・線で表す、線で描くことに興味を持って、よりよい表現を創造しようとする。<br><br>・自分が伝えたいことを明確にし、効果的に表現できるよう、構想を練ることができる。<br><br>・自分らしい表現ができるように、描画用具の特性を生かし、工夫をして表現することができる。<br><br>・作品を鑑賞して、そのよさや美しさを味わうことができる。 |
| 5 | | | 9 | | | 2 | | |
| 6 | | | 10 | 本物らしくつくろう<br>（紙粘土による塑造。<br>身近な物をできるだけ<br>正確に、思いを込めて作る） | ・モチーフの立体としてのよさや美しさを感じ取り、進んで製作に 取り組もうとする。<br><br>・対象をよく観察し、対象の持つ瞬間の動きや美しさを自分らしく工夫して、構想を練ることができる。<br><br>・素材や道具の特性を生かし効果的に表現することができる。<br><br>・作品を鑑賞して、そのよさや美しさを味わうことができる。 | 3 | | |
| 7 | | | 11 | | | | | |
| | | | 12 | | | | | |

［第3学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 日本美術の鑑賞 | ・美術に関心を持ち、さまざまな表現を味わおうとする。<br><br>・美術文化や文化遺産などに対する興味関心を高め、自分との関わりを考えようとする。 | 8 | ボックスアート作品の発表 | ・自分自身の思いや感情をしっかり伝え、表現方法や構成、創意工夫の仕方に的確に説明することができる。 | 1 | 堆朱の制作<br>（堆朱でキーホルダーのデザインを考え制作する） | ・美術文化や文化遺産などに対する興味関心を高め、自分との関わりを考えようとする。<br><br>・日本古来からある素材の特徴を生かし、美しく制作することができる。<br><br>・作品を鑑賞して、そのよさや美しさを味わうことができる。 |
| 5 | | | 9 | | | 2 | | |
| | ボックス・アートの制作<br><br>（箱を心の窓に見立てて、箱の中に自分を表現する思い入れ一杯の空間を創造していく） | ・自分自身の思いや感情を伝えるための表現方法や構成、創意工夫の仕方に関心を持ち、表現に生かそうとする。<br><br>・素材の機能や効果を考え工夫し、独創的に作品の構想を練ることができる。<br><br>・自分らしさが現れるように、材料や描画用具の特性を生かし、工夫をして表現することができる。<br><br>・作品を鑑賞して、そのよさや美しさを味わうことができる。 | | 印鑑・印面の制作<br>（自分らしく印面をデザインし、てん刻として制作する） | ・用途のある物の制作に関心を持ち、意欲的に取り組もうとする。<br><br>・自然素材（軟石）を加工することを味わい、自分なりに工夫して制作することができる。<br><br>・文字をバランスよく美しくデザインしようと考えることができる。<br><br>・鈕を立体としてとらえて、軟石の素材を活かし自分なりの表現で制作することができる。<br><br>・手順を追って、安全に制作を進めることができる。<br><br>・作品を鑑賞して、そのよさや美しさを味わうことができる。 | | | |
| 6 | | | 10 | | | 3 | | |
| 7 | | | 11 | 持ち手（印鈕）の制作 | | | | |
| | | | 12 | | | | | |

# （ 保健体育科 ）
# １ 教科の目標

①生涯にわたり、スポーツを親しむことで心身ともにたくましく、生きていく力を身につける。②健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を身につける。③基礎・基本的知識や技能の定着を図り、仲間と協力し自己や集団の課題を解決していく力を身につける。

# ２ 評価について

| 観点 | 評価の観点の趣旨 | 評価の資料 | | | | | 評価にあたって重視することがら（評価規準） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 授業態度・安全配慮 | 他者への働きかけ | 学習カードの活用授業の振り返り | 運動技能の定着・向上 | 筆記テスト | |
| 知識・技能 | 運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。また、個人の生活における健康・安全について科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。 | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ・運動技能の要領やルール・保健学習などに関する正しい知識を身につけることができる。<br>・質問に対して文字や文章で表現・記述することができる。<br>・授業内で適切な発言をすることができる。<br>・各実技単元の知識、保健分野の知識を深めている。・基本的な技能を身につけることができる。<br>・練習、試合、記録会などで身に付けた技能を表現・発揮することができる。<br>・ペア、グループ、班活動時に自分の役割に適した活動をすることができる。<br>・他者への技能的な助言をすることができる。 |
| 思考・判断・表現 | 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して科学的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。 | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ・自分に適しためあて、課題を発見、課題を解決することができる。<br>・ペアや班に適しためあて、課題を発見、課題を解決することができる。<br>・活動を振り返り、次回の活動に生かすことができる。<br>・互いに学び合い、正しく評価したり、助言することができる。<br>・学習カードに適切な内容を記入することができる。 |
| 主体的に取り組む態度 | 運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ・授業のルールを守り、意欲的、積極的に活動に取り組むことができる。<br>・互いを認め合い、仲間と協力して活動に取り組むことができる。<br>・他者への助言やサポートをすることができる。<br>・各種目の楽しさを味わい、授業内容に応じた言動ができる。<br>・器具や活動場所の安全、自他の健康安全に注意して学習に取り組むことができる。<br>・常に高い意識をもって授業に取り組み、自ら他者への声掛けができる。 |

## 3 年間指導計画

［第1学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | 体つくり運動<br>集団行動<br>陸上競技<br>保健 | ・自己の体力を知り、自己の体力に応じた課題を設定する。<br>・体ほぐしや体力を高める運動の目的や意味を理解し、実践する。<br>・礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。<br>・自己の所属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上につとめる。<br>・記録の向上や競争の楽しさを味わい、積極的に取り組む。<br>・自己の課題に応じた種目を選択、設定して解決に向けての練習を工夫する。<br>・記録の向上やフォームの改善を意識して仲間と協力して練習に取り組む。<br>・技術の名称や行い方、関連した体力などを理解する。 | 8 | 器械運動<br>ソフトボール<br>保健 | ・技ができる喜びを味わい、積極的に活動する。<br>・自己の能力に応じた技を選択し、課題を設定して解決に向けて取り組む。<br>・基本的な技を習得するとともに、自己の能力に応じた技を選択して活動する。<br>・技の名称や行い方、補助の仕方を理解する。<br>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携して積極的に取り組む。<br>・自己の課題やチームの課題を設定し、課題解決に向けての練習を工夫する。<br>・基本的な技能を習得し、仲間と連携した動きをつくる。<br>・球技の特性や技術の名称、ルールを理解する。 | 1 | バレーボール<br>卓球<br>保健<br>体育理論 | ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携して積極的に取り組む。<br>・自己の課題やチームの課題を設定し、課題解決に向けての練習を工夫する。<br>・基本的な技能を習得し、仲間と連携した動きをつくる。<br>・球技の特性や技術の名称、ルールを理解する。 |
| 5 | | | 9 | | | 2 | | ・健康の保持増進に必要な生活行動に関心を持って学習する。<br>・健康な生活や疾病の予防について、日常生活を振り返り課題を発見する。<br>・思春期の心身の発達や欲求、ストレスへの対処法について関心を持って取り組む。<br>・思春期の心身の発達の仕方や欲求、ストレスへの対処法など仲間との学びあいから自らを振り返り、よりよい方向への解決方法を考える。 |
| 6 | 器械運動<br>ソフトボール<br>保健 | ・技ができる喜びを味わい、積極的に活動する。<br>・自己の能力に応じた技を選択し、課題を設定して解決に向けて取り組む。<br>・基本的な技を習得するとともに、自己の能力に応じた技を選択して活動する。<br>・技の名称や行い方、補助の仕方を理解する。<br>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携して積極的に取り組む。<br>・自己の課題やチームの課題を設定し、課題解決に向けての練習を工夫する。<br>・基本的な技能を習得し、仲間と連携した動きをつくる。<br>・球技の特性や技術の名称、ルールを理解する。 | 10 | | | | | |
| | | | | ダンス<br>サッカー<br>保健 | ・みんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通して交流する。<br>・グループの仲間と協力して、グループにあったダンスを選択し、動きを工夫しダンスをつくる。<br>・基本ステップを習得し、感じを込めてダンスをつくる。<br>・ダンスの特性や基本ステップ、表現の仕方を理解する。<br>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携して積極的に取り組む。<br>・自己の課題やチームの課題を設定し、課題解決に向けての練習を工夫する。<br>・基本的な技能を習得し、仲間と連携した動きをつくる。<br>・球技の特性や技術の名称、ルールを理解する。 | 3 | | ・思春期の心身の発達や心の健康を理解し、自己認識を深める。 |
| 7 | 水泳<br>保健 | ・泳ぐことや記録の向上、競争の楽しさや喜びを味わい、積極的に取り組むとともに健康や安全に気を配る。<br>・自己にあったコースを選択し、自己の課題解決を発見し、課題解決に向けて練習する。<br>・記録の向上やフォームの改善を意識してルールやマナーを守り、仲間と協力して活動する。<br>・水泳の特性や技術の名称、事故防止に関する知識を理解する。 | 11 | | | | | |
| | | | 12 | | | | | |
| | | | | | | | | |

［第2学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | 体つくり運動<br>集団行動<br>陸上競技<br>保健 | ・自己の体力を知り、自己の体力に応じた課題を設定する。<br>・体ほぐしや体力を高める運動の目的や意味を理解し、実践する。<br>・礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。<br>・自己の所属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上につとめる。<br>・記録の向上や競争の楽しさを味わい、積極的に取り組む。<br>・自己の課題に応じた種目を選択、設定して解決に向けての練習を工夫する。<br>・記録の向上やフォームの改善を意識して仲間と協力して練習に取り組む。<br>・技術の名称や行い方、関連した体力などを理解する。 |
| 5 | | |
| 6 | 器械運動<br>ソフトボール<br>（柔道）<br>保健 | ・技ができる喜びを味わい、積極的に活動する。<br>・自己の能力に応じた技を選択し、課題を設定して解決に向けて取り組む。<br>・基本的な技を習得するとともに、自己の能力に応じた技を選択して活動する。<br>・技の名称や行い方、補助の仕方を理解する。<br>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携して積極的に取り組む。<br>・自己の課題やチームの課題を設定し、課題解決に向けての練習を工夫する。<br>・基本的な技能を習得し、仲間と連携した動きをつくる。<br>・球技の特性や技術の名称、ルールを理解する。<br>・自己の課題を発見し、解決に向けて取り組む。<br>・基本動作や基本の動きを習得し、活動する。<br>・柔道の特性や伝統的な考え方、技の名称や行い方を理解する。 |
| 7 | 水泳<br>保健 | ・泳ぐことや記録の向上、競争の楽しさや喜びを味わい、積極的に取り組むとともに健康や安全に気を配る。<br>・自己にあったコースを選択し、自己の課題解決を発見し、課題解決に向けて練習する。<br>・記録の向上やフォームの改善を意識してルールやマナーを守り、仲間と協力して活動する。<br>・水泳の特性や技術の名称、事故防止に関する知識を理解する。 |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 8 | 器械運動<br>ソフトボール<br>（柔道）<br>保健 | ・技ができる喜びを味わい、積極的に活動する。<br>・自己の能力に応じた技を選択し、課題を設定して解決に向けて取り組む。<br>・基本的な技を習得するとともに、自己の能力に応じた技を選択して活動する。<br>・技の名称や行い方、補助の仕方を理解する。<br>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携して積極的に取り組む。<br>・自己の課題やチームの課題を設定し、課題解決に向けての練習を工夫する。<br>・基本的な技能を習得し、仲間と連携した動きをつくる。<br>・球技の特性や技術の名称、ルールを理解する。<br>・技ができる楽しさや喜びを味わい、相手を尊重し伝統的な行動の仕方を守って積極的に活動する。<br>・自己の課題を発見し、解決に向けて取り組む。<br>・基本動作や基本の動きを習得し、活動する。<br>・柔道の特性や伝統的な考え方、技の名称や行い方を理解する。 |
| 9 | | |
| 10 | | |
| | ハンドボール<br>バレーボール<br>保健 | ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携して積極的に取り組む。<br>・自己の課題やチームの課題を設定し、課題解決に向けての練習を工夫する。<br>・基本的な技能を習得し、仲間と連携した動きをつくる。<br>・種種の助言を理解して表現できる。<br>・効果的な動きを考え練習ができる。<br>・球技の特性や技術の名称、ルールを理解する。 |
| 11 | | |
| 12 | | |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 1 | ハンドボール<br>バレーボール<br>保健<br>体育理論 | ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携して積極的に取り組む。<br>・自己の課題やチームの課題を設定し、課題解決に向けての練習を工夫する。<br>・基本的な技能を習得し、仲間と連携した動きをつくる。<br>・種種の助言を理解して表現できる。<br>・効果的な動きを考え練習ができる。<br>・球技の特性や技術の名称、ルールを理解する。 |
| 2 | | ・健康と環境の関わりについて関心を持って学習する。<br>・健康と環境について日常生活を振り返り、課題を発見する。<br>・環境を保全する必要性を理解する。<br>・健康の保持増進に必要な生活行動に関心を持って学習する。<br>・健康な生活や疾病の予防について、日常生活を振り返り課題を発見する。 |
| 3 | | |

［第3学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | 体つくり運動<br>集団行動<br>陸上競技<br>保健 | ・自己の体力を知り、自己の体力に応じた課題を設定する。<br>・体ほぐしや体力を高める運動の目的や意味を理解し、実践する。<br>・礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとる。<br>・自己の所属する様々な集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上につとめる。<br>・記録の向上や競争の楽しさを味わい、積極的に取り組む。<br>・自己の課題に応じた種目を選択、設定して解決に向けての練習を工夫する。<br>・記録の向上やフォームの改善を意識して仲間と協力して練習に取り組む。<br>・技術の名称や行い方、関連した体力などを理解する。 |
| 5 | | |
| 6 | ソフトボール<br>バスケット<br>ボール<br>保健 | ・技ができる喜びを味わい、積極的に活動する。<br>・自己の能力に応じた技を選択し、課題を設定して解決に向けて取り組む。<br>・基本的な技を習得するとともに、自己の能力に応じた技を選択して活動する。<br>・技の名称や行い方、関連した体力などを理解する。<br>・種種の助言を理解して表現できる。<br>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携して積極的に取り組む。<br>・自己の課題やチームの課題を設定し、課題解決に向けての練習を工夫する。<br>・基本的な技能を習得し、仲間と連携した動きをつくる。<br>・球技の特性や技術の名称、ルールを理解する。 |
| 7 | 水泳<br>保健 | ・泳ぐことや記録の向上、競争の楽しさや喜びを味わい、積極的に取り組むとともに健康や安全に気を配る。<br>・自己にあったコースを選択し、自己の課題解決を発見し、課題解決に向けて練習する。<br>・記録の向上やフォームの改善を意識してルールやマナーを守り、仲間と協力して活動する。<br>・水泳の特性や技術の名称、事故防止に関する知識を理解する。 |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 8 | ソフトボール<br>バスケットボール<br>保健 | ・技ができる喜びを味わい、積極的に活動する。<br>・自己の能力に応じた技を選択し、課題を設定して解決に向けて取り組む。<br>・基本的な技を習得するとともに、自己の能力に応じた技を選択して活動する。<br>・技の名称や行い方、関連した体力などを理解する。<br>・種種の助言を理解して表現できる。<br>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携して積極的に取り組む。<br>・自己の課題やチームの課題を設定し、課題解決に向けての練習を工夫する。<br>・基本的な技能を習得し、仲間と連携した動きをつくる。<br>・球技の特性や技術の名称、ルールを理解する。 |
| 9 | | |
| 10 | | |
| | ハンドボール<br>バレーボール<br>保健 | ・技ができる喜びを味わい、積極的に活動する。<br>・自己の能力に応じた技を選択し、課題を設定して解決に向けて取り組む。<br>・基本的な技を習得するとともに、自己の能力に応じた技を選択して活動する。<br>・技の名称や行い方、関連した体力などを理解する。<br>・種種の助言を理解して表現できる。<br>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携して積極的に取り組む。<br>・自己の課題やチームの課題を設定し、課題解決に向けての練習を工夫する。<br>・基本的な技能を習得し、仲間と連携した動きをつくる。<br>・球技の特性や技術の名称、ルールを理解する。 |
| 11 | | |
| 12 | | |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 1 | ハンドボール<br>バレーボール<br>保健<br>体育理論 | ・技ができる喜びを味わい、積極的に活動する。<br>・自己の能力に応じた技を選択し、課題を設定して解決に向けて取り組む。<br>・基本的な技を習得するとともに、自己の能力に応じた技を選択して活動する。<br>・技の名称や行い方、関連した体力などを理解する。<br>・種種の助言を理解して表現できる。<br>・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携して積極的に取り組む。<br>・自己の課題やチームの課題を設定し、課題解決に向けての練習を工夫する。<br>・基本的な技能を習得し、仲間と連携した動きをつくる。<br>・球技の特性や技術の名称、ルールを理解する。<br><br>・健康の保持増進に必要な生活行動に関心を持って学習する。<br>・健康な生活や疾病の予防について、日常生活を振り返り課題を発見する。<br>・健康を保持増進するために生活習慣が深く関わっていることや感染症の発生要因とその予防を理解する。<br>・健康と環境の関わりについて関心を持って学習する。<br>・健康と環境について日常生活を振り返り、課題を発見する。<br>・環境を保全する必要性を理解する。 |
| 2 | | |
| 3 | | |

# （技術・家庭科　技術分野）

## １　教科の目標

(1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。
(2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，表現するなど，課題を解決する力を養う。
(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

## ２　評価について

| 観点 | 評価の観点の趣旨 | 評価の資料 | | | | | 評価にあたって重視することがら（評価規準） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 学習・授業への取り組み | ノート・授業プリント | 調べ学習・発表 | レポート等の課題 | 定期試験・小テスト | |
| 知識・技能 | ・生活や社会で利用されている材料，加工，生物育成，エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解と，それらに係る技能を身につける。<br>・技術と生活や社会，環境との関わりについての理解する。 | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ・生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解とそれらに係る技能を身に付けている。<br>・材料と加工の技術と生活や社会，環境との関わりについての理解している。<br>・製作に必要な図をかき，安全・適切な製作や検査・点検等ができる技能が身に付けている。 |
| 思考・判断・表現 | ・生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，製作図等に表現し，試作等を通じて具体化し，実践を評価・改善するなど，課題を解決する力を身につける。 | ○ | | ◎ | ◎ | ○ | ・生活や社会の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだして課題を設定し解決する力が身に付いている。<br>・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて，それぞれの分野の技術を評価し，適切に選択，管理・運用したり，新たな発想に基づいて改良，応用したりする力が身に付いている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を身につけようとする。 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度が見られる。<br>・自分なりの新しい考え方や捉え方によって，解決策を構想しようとする態度が見られる。<br>・自らの問題解決とその過程を振り返り，よりよいものとなるよう改善・修正しようとする態度が見られる。 |

## 3 年間指導計画

［第1学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | オリエンテーション<br>(1) 生活と技術<br>・技術分野の学習の見通し<br>・学習内容の紹介<br><br>生物の育成に関する技術<br>(1) 生物の育成環境と育成技術 | ・技術の発達による生活や産業の変化を調べる。<br>・建築，農耕，照明，情報通信の内容について，技術の発達とともに人々の暮らしがどのように変化したか考える。<br>・身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイディアを調べ，発表する。 | 8 | 材料と加工に関する技術<br><br>・身の回りの材料と加工の技術<br>・木材，金属，プラスチックの特性 | ・教室や技術室にある製品を見渡して，どのような材料が使われているか調べ，発表する。<br><br>・木材，金属，プラスチックの特性について，触ったり，観察したりして気付いたことを発表する。 | 1 | ・製作品が完成するまでの設計・製作を振り返って，できたことやできなかったことを思い出す。<br><br>・製作品の品質と製作の工程の両面から，それぞれの評価の観点に沿って，製作品や製作工程表などを見ながら，評価する。 | ・製作品だけでなく，製作工程表や製作に使用した図などを基に，評価させる。<br><br>・改善点があれば，改善・修正について考えさせたり，次の製作に生かしたりさせる。<br>・材料選択や作業方法を工夫する方法，複数の課題に対応する解決策なども考えさせると次の課題解決へとつながる。<br><br>・欠点や改善点を挙げるだけでなく，今後に生かせることなどにも注目させる。 |
| 5 | ・生物育成の技術とは<br>・作物の育成環境を調節する技術<br><br>・作物の成長を管理する技術<br>・ハーブの育成 | ・冬に夏野菜のトマトやキュウリを食べることができるのはなぜか，グループで話し合い，発表する。<br>・発表の中から，育成環境を調節、成長を管理する、生物の特徴を改良する技術のどれにあたるかを考える。それら以外の目的にも着目させ視野を広げる。 | 9 | ・材料に適した加工方法<br><br>・丈夫な製品を作るために<br><br>・材料と加工の技術の工夫の読み取り<br>・構想の具体化<br>・構想のまとめ | ・身近にある材料を加工する方法として，けがき，切断，切削，折り曲げ，穴あけ，ねじ切り，組立て，表面処理・塗装などがあることを知る。<br>・それぞれの作業で示されている工具がどの材料に適したものなのかを調べ，使う材料によって適した工具が違うことを知る。 | 2 | | |
| 6 | ・動物を育てる技術<br>・水産生物を育てる技術<br>・生物育成の技術の工夫の読み取 | 広げる。<br>・ハーブの育成をし、観察し発芽率、成長差から課題を発見し、葉の色合いをよくしたりする、育成環境を調節する手立てがあるのかを考えたり，育成に向けての課題を考えられる。<br>・温室栽培で用いられている技術は、成長、環境を管理する技術のどれに当たるかを考える。<br>・人と動物との関わりについて、動物を育てるという視点と動物を活用するという視点から考える。 | 10 | ・正確に作業すること，安全や作業の能率，材料の無駄に注意して作業を行う。<br><br>・けがき、切断、部品加工<br><br>・組み立て、仕上げ | ・ただ製作を行うだけでなく，正確性や作業能率，材料の無駄など，社会で求められている視点を意識させ，製作を行わせる。<br><br>・正確・安全に行うための工夫として，ジグについて説明するとともに，製作に活用できるよう準備しておく。 | 3 | 製作品の評価<br>新しい材料と加工の技術の開発<br><br>未来のTechnology | ・使用した材料や手工具や工作機械を使って加工したことについてプラス面とマイナス面を考えさせる。 |
| 7 | | | 11 | | | | | |
| | | | 12 | | | | | |

［第2学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | ・身の回りにある機器などが，どのような仕組みで動いているか調べる。<br>・エネルギー変換の技術について，化石燃料がガス、ガソリン、電気などになり、電気がいろいろなエネルギーに変換されているか考える。 | ・取り上げた機器が，何を動力源として，どんな仕事をするのかを考えることで，エネルギーの変換をイメージさせる。<br><br>・電気エネルギーの変換だけでなく，化学エネルギーや，自然エネルギーからの変換について知る。 |
| 5 | ・送電を例に考え，発電所から家庭に電気が届くまでの間に，どの程度のエネルギーが失われているかについて知る。<br>・自分たちが利用する電気がどのような発電方法で発電されているかを知る。 | ・エネルギー変換効率を100％にすることは難しいが，その損失を少しでも減らす技術が必要であるということに気付かせる。<br>・現在，研究されている最新の発電方法なども紹介し，今後の可能性などを伝える。また、エネルギーミックスの変遷について知らせる。 |
| 6 | ・自分たちが利用する電源には電池とコンセントがあり，それぞれ特徴や利用方法があることを知る。<br>・電気が発電所から家庭に届く送電と配電の仕組みについて知る。 | ・直流と交流について身近なACアダプタについて触れ，直流・交流を上手く活用していることを気付かせる。<br>・電気回路は負荷の部分で電気エネルギーを変換して目的の動作をさせていることを押さえる。 |
| 7 | ・電気用図記号を使って，身の回りの製品の回路図を描く。<br>・電気部品の定格について知る。<br>・モータな・機械を安全に利用するには，定期的な保守点検が必要であることを知る。<br>・どの原動機から作業機が仕事を行うために，その目的に応じて伝動機があることを理解する。 | ・定格表示について説明し，定格以上の電流が流れると危険であることに気付かせる。<br>・実際には，ビニルコードの許容電流の関係もあり，タップやプラグだけの定格では判断できないことを知らせる。<br>・機械は動力を受け入れ，運動の形や速さを変えて伝達し，仕事をしていることを知らせる。<br>・挙げられた仕様以外にも安全性や社会からの要求に応えるための工夫があることに気付かせる。 |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 8 | ・ふだん利用している情報について，どのようなものがあるかを挙げる。<br>・ソフトウェアとは，コンピュータを動作させるためのプログラムなどのことだと知る。<br>・ハードウェアやソフトウェアの発達によって，どのよ | ・ソフトウェアには基本ソフトウェアと応用ソフトウェアがあり，ハードウェアはソフトウェアがなければ動作しないことを知る。<br>・情報の技術によって，さまざまな処理や作業ができるようになったといった光の部分だけでなく，影の部分も知る。<br>・情報の技術によって便利になった |
| 9 | うなことが可能になったかを考える。<br>・デジタルカメラで撮影した画像を見て，画像が小さな点の集まりであることを知る。また，点の大きさと色でデータ量が変わることを知る。 | ーとをグループや全体で交流させる。<br>文字や音声，動画などをさまざまな情報を統合して扱えることを知る。<br>・1つの点が持つデータ量について考えさせ，データ量が多いほど，画像であれば高画質なものを表現できるなど，品質が高くなることを知る。 |
| 10 | ・情報通信ネットワークを構成するために必要な機器や接続できる情報機器などについて知る。<br>・デジタル化された情報の特性から，著作権に対する意識の向上が求められることを考える。<br>・知的財産権と著作権について知り，他人の著作権を尊重し，自分の著作権も意識する必要があることについて知る。 | ・家庭や学校におけるLANを例に，情報通信ネットワークを構成するために必要な機器や接続できる情報機器などについて気付く。<br>・デジタル化された情報は複製しても品質が劣化しないという特性が悪用され，他人に不正利用されることがあることを伝え，著作権の重要性を認識させる。<br>・知的財産権がなければどのようなことになるのかを考えさせる。 |
| 11 | ・情報セキュリティの三要素を実現するための技術として，さまざまなセキュリティ対策のためのソフトウェアがあることを知る。 | ・新たな攻撃に備えて，ウイルス定義ファイルやOSなどを最新の状態にしておくことの重要性に気付かせる。<br>・サイバー攻撃可視化ツールを用いて現状を見せる。<br>・セキュリティホールの存在，悪意あるネットワークユーザについて意識させる。 |
| 12 | ・さまざまな問題を解決するために処理の方法や手順を命令の形で記述したものがプログラムであることを知る。 | ・プログラムには，開発者が問題を解決するために考えたり工夫したりしたアイディアが表現されていることを知る。 |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 1 | ・さまざまなメディアを統合した双方向性のあるコンテンツを実現するためにプログラムが必要であることを知る。<br>・双方向性のあるコンテンツによって便利になった例を挙げて，基本的な仕組みと利用方法をまとめる。 | ・コンテンツを，使用者の働きかけに応じて出力するために，プログラムが必要であることを気付かせる。<br>・学びをまとめさせるとともに，世の中のコンテンツは使用者にとって「使いやすい」「分かりやすい」「安全」などの視点から，日々最適化されていることに気付かせる。<br>・クリックやメッセージの送受信など，プログラムを動作させる働きかけを確認させる。 |
| 2 | ・プログラムを実行して，目的の動作をしているか確かめる。異なる場合は，理由を考えて修正する。<br>・完成したプログラムを他者に利用してもらい，改善点やより効率的な処理方法を考える。 | ・プログラムは，1つ1つの処理を組み合わせてできていること，分担して作業できることを確認する。<br>・暗くなったと判断する値（しきい値）を変更して試してみる。<br>・タッチセンサ（押しボタン）を組み合わせる際には，プログラムの順番を気付かせる。 |
| 3 | ・micro:bitの光センサを使って，周囲が暗くなったらLEDが点灯するプログラムを作成する。<br>・構想した計測・制御システムは設定した課題が解決できたか評価をする必要があることを知る。<br><br>・制作したプログラムを実行し，目的とする動作をしない場合は，修正，見直しの作業（デバッグ）が必要なことを知る。 | ・プログラムによって計測・制御が容易に実現できることに気付かせるとともに，エネルギー変換の技術との違いも理解させる。<br>・プログラムの制作は，完成させるために何度もデバッグをする必要があることを知る。<br><br>・計測・制御システムは設定した課題に対して，達成できたかを確認する必要性を伝える。未達成の場合は，再度デバッグを繰り返す必要があることを知る。 |

［第3学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4<br>5 | ・さまざまなメディアを統合した双方向性のあるコンテンツを実現するためにプログラムが必要であることを知る。<br><br>・双方向性のあるコンテンツによって便利になった例を挙げて，基本的な仕組みと利用方法をまとめる。<br><br>・プログラムを実行して，目的の動作をしているか確かめる。異なる場合は，理由を考えて修正する。 | ・コンテンツを，使用者の働きかけに応じて出力するために，プログラムが必要であることを気付かせる。<br>・学びをまとめさせるとともに，世の中のコンテンツは使用者にとって「使いやすい」「分かりやすい」「安全」などの視点から，日々最適化されていることに気付かせる。<br>・クリックやメッセージの送受信など，プログラムを動作させる働きかけを確認させる。<br>・プログラムは，1つ1つの処理を組み合わせてできていること，分担して作業できることを確認する。 |
| 6<br>7 | ・完成したプログラムを他者に利用してもらい，改善点やより効率的な処理方法を考える。<br><br>・micro:bitを利用し構想した計測・制御システムは設定した課題が解決できたか評価をする必要があることを知る。<br>・制作したプログラムを実行し，目的とする動作をしない場合は，修正，見直しの作業（デバッグ）が必要なことを知る。 | ・プログラムによって計測・制御が容易に実現できることに気付かせるとともに，エネルギー変換の技術との違いも気付く。<br><br>・プログラムの制作は，完成させるために何度もデバッグをする必要があることを知る。<br><br>・計測・制御システムは設定した課題に対して，達成できたかを確認する必要性を伝える。未達成の場合は，再度デバッグを繰り返す必要があることを知る。 |
|  | ・ワークシートを活用し，身の回りの解決したい問題を考える。<br>・その問題を解決するための課題を設定する。<br>・課題を解決するための方法を考える。<br>・「社会からの要求」「使用者の安全」「利便性」などの技術の見方・考え方を働かせて検討する。 | ・問題設定から解決までの流れを考えさせる。<br><br>・実現したい自動化，システム化のモデルを検討することを伝え，自走式や光，音などを利用する教材の使用を考える。 |
|  |  |  |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 8<br>9 | ・「社会からの要求」「使用者の安全」「利便性」などの技術の見方・考え方を働かせて検討する。<br><br>エネルギー変換のまとめ<br>・製作工程表を作成し，製作の計画を立てる。グループで作業する場合には，役割分担を考えておく。<br>・作業時の服装や環境，道具及び機械の扱いに気 | ・「使用者や周囲の人は安全か」「目的どおり正確に動作するか」など，「技術の見方・考え方」について具体的に知る。<br><br>・授業時数や使用できる道具及び機械とその注意点などを確認しておく。 |
|  | を付けて作業を進める。<br>・完成後，目的どおりの電気回路となっているかどうかを点検し，必要に応じて調整を行う。 | ・構想に基づいて設計し，電気回路の回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。 |
| 10<br>11 | ・センサはどのようなものを使うか考える。具体的に、超音波センサ，温度センサ，明るさセンサ，タッチセンサなど<br>・仕事を行う部分は何を使うか考える。モータ，LED，ブザー，電熱線，ヒータなど<br>・プログラムの制作は課題解決に対して，必要なセンサと仕事を行う部分などを関連付けて動作を決定し | ・各種センサと仕事を行う部分を実際に用意して動作や働きを見て知る。<br><br>・センサを扱う際，分岐処理に使用するしきい値のことも知る。<br><br>・フローチャートを用いて，センサと仕事を行う部分の関連性を気付く。 |
| 12 | ていく作業であることを知る。<br><br>・問題を解決するプログラムを制作する。 | ・フローチャートなどを確認させながら，センサと仕事を行う部分の動きを実現するプログラムを考えさせる。 |
|  |  |  |

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 1<br>2 | ・情報の技術の学習を通して経験してきた問題解決と，社会の問題解決の例を比較し，処理の自動化やシステム化の工夫による最適化が図られてきたことに気付く。<br>・社会の中の問題解決に用いられている技術を1つ選び，「技術の見方・考え方」を基に分析し，プラス面とマイナス面があることに気付く。 | ・社会の問題解決例を1つ挙げ，「技術の見方・考え方」を基に，問題解決の視点や最適化について考えさせる。<br><br>・自動車の自動運転技術を例にして，安全，快適に自動車を利用できる一方，天候による不具合やコンピュータへの不正アクセスなどの課題もあることに気付かせる。 |
|  | ・技術者の立場になって，未来に向けた技術の改良，応用について考える。<br><br>・持続可能な社会を創るために，自分が技術者として取り組みたいことをテーマに，考えをまとめる。 | ・技術の改良，応用については，グループでの話し合いを行わせ，これまでにない技術の活用について提案をまとめさせる。<br><br>・これまでの学習を基に，これからの情報の技術について自分の考えをまとめさせる。 |
| 3 |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

# （技術・家庭科　家庭分野）

## １　教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ，衣食住などに関する実践的・体験 的な活動を通して,よりよいの実現に向けて，生活を工夫し創造する資質・ 能力を次のとおり育成することを目指す。

## ２　評価について

| 観点 | 評価の観点の趣旨 | 評価の資料 | | | | | 評価にあたって重視することがら（評価規準） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 学習・授業への取り組み | ノート・授業プリント | 調べ学習・発表 | レポート等の課題 | 定期試験・小テスト | |
| 知識・技能 | ・家族・家庭の基本的な機能について理 解するとともに，家族・家庭生活に関する知識及び技能を身に付ける。<br>・中学生に必要な栄養の特徴や健康によい食習慣，栄養素や食品の 栄養的な特質，食品の種類と概量，献立作成，食品の選択と調理などに関する知 識及び技能を身に付ける | ○ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ・これからの 生活を展望して，家族・家庭や地域における生活の課題を解決する力を養い，家庭生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けている。　・食の知識を理解し身に付けている。生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けている。 |
| 思考・判断・表現 | 家族・家庭の機能について理解を深め，家族・家庭，衣食住，消費や環 境などについて，生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。<br>・これからの生活を展望して，衣・食・住生活の課題を解決する力 を養い，さらに工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付ける。 | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ・家族の互いの立場や役割が分かり，協力することによって家族関係 をよりよくできることについて理解し工夫できること<br>・衣食住の知識を理解し身に付けている。生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けている。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ・よりよい家庭生活に向けて考え，工夫する活動や家庭生活を工夫し創造しようとする態度を身につける<br>・食生活，衣生活，住生活を総合的に捉え，健康・快適・安全で豊かな生活を営ん だり、衣食住の生活に係る課題を解決する 力を養い，実践できるようにする。 | ◎ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ・食生活，衣生活，住生活を総合的に捉え，健康・快適・安全で豊かな生活を営ん だり、衣食住の生活に係る課題を解決する 力を養い，実践できるようにする。 |

## 3 年間指導計画

［第1学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | ・家庭分野のガイダンス<br>A:家族、家庭生活<br>・自分の成長と家族<br>・家庭生活と地域との関わり | ○小学校の家庭科の振り返りとともに3学年間の学習内容の見通しをもつ。<br>○家庭での活動を考え，家族・家庭の基本的な機能について理解する。<br>○中学生のいる世帯の1日の生活時間のデータから，家庭の機能を支える家庭の仕事を誰が担っているかに気づき，自分ができることを考える。 | 8 | | | 1 | B 消費生活・環境<br>・消費生活のしくみ<br>・家庭生活における収入と支出 | ○物資とサービスの特徴がわかる。<br>○消費生活のしくみがわかる。 ○収支バランスをはかり、計画的に金銭管理する必要があることがわかる。 |
| 5 | B: 住生活<br>・住まいのはたらき<br>・住まいの空間<br>・安全な住まい | ○住まいの基本的な役割について理解する。<br>○日本の伝統的な住まいの特徴や下記地の気候に合わせた住まいの特徴があることに気づかせる。<br>○住まいの空間の使い方について理解する。<br>○さまざまな生活によって住まい方の工夫があることを理解する。 | 9 | B 食生活<br>・食事の役割<br>・健康によい食習慣<br>・中学生に必要な栄養を満たす食事 | ○健康に良い食事について学び，規則正しく食事をとることの重要性を理解する。<br>○中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。 | 2 | B 消費生活・環境<br>・購入・支払いと生活情報<br>・売買契約<br>・いろいろな支払い方法<br>・消費者被害 | ○店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。<br>○売買契約についての問題発生の原因や予防法を理解する。<br>○支払い方法の利点と問題点を理解する。<br>○3者間取引の仕組みやキャッシュレス化の影響について理解する。 |
| 6 | B:住生活<br>・災害への備え<br>・持続可能な住生活 | ○家庭内事故の種類とその原因を知り対処方を考えられるようにする。 ○幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫をする。 ○地域のさまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。 | 10 | B 食生活<br>・栄養素の働きと6つの基礎食品群<br>・栄養バランスを目で見て判断 | ○食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。<br>○食品は栄養的特質により食品群に分類されることを理解する。 | 3 | B 消費生活・環境<br>・消費の権利と責任<br>・持続可能な社会 | ○生活情報の収集や活用に仕方を理解し、目的に合った商品を選ぶことができる。 |
| 7 | B: 住生活<br>・持続可能な住生活 | ○さまざまな生活によって、住まい方の工夫があることを理解する。<br>○「せいかつに生かそう」に取り組み、自分の考えをまとめる。 | 11 | B 食生活<br>・生鮮食品の選択と保存<br>・加工食品の選択<br>・食品の安全と情報 | ○生鮮食品の特徴がわかる。<br>○目的に応じて生鮮食品を選択・保存できる。<br>○加工食品の特徴がわかる。<br>○目的に応じて加工食品を選択できる。○食の安全を保っているしくみを知り、食品の情報を適切に判断して選択できる。 | | | |
| | | | 12 | B 食生活<br>・日常食の調理<br>・うまみとだし<br>・野菜の調理 | ○だしの学習を通して、郷土食や和食の行事食の文化を知る。 | | | |

［第2学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | ・ガイダンス<br>1編：家族、家庭生活<br>・自分の成長と家族<br>・家庭生活と地域との関わり | ○家庭での活動を考え，家族・家庭の基本的な機能について理解する。<br>○中学生のいる世帯の1日の生活時間のデータから，家庭の機能を支える家庭の仕事を誰が担っているかに気づき，自分ができることを考える。 | 8 | | | 1 | 3編　食生活<br>調理の学習<br>魚の調理 | ○魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり，魚を調理することができる。　○魚の調理上の性質を知る。　○安全と衛生に気を付けて魚を調理する。 |
| 5 | 2編：衣生活<br>・衣服の働きを考えよう<br>・TPOを踏まえた着方<br>・衣服の計画的な活用方法　・既製品の選び方 | ○衣服の社会生活上のはたらきがわかる。<br>○TPOを考えた衣服選びができる。　○自分らしい着方をくふうすることができる。<br>○既製服を選ぶポイントがわかる。 | 9 | 3編　衣生活<br>・リサイクル（アップサイクル）　・和服 | ○和服の文化や歴史、リサイクルについて考え工夫できる。 | 2 | 3編　食生活<br>・持続可能な食生活を送るために<br>・地域の食文化・地産地消<br>・食生活を振り返る。 | ○地域で生産される食材を知り，それを使う意義と和食の調理を理解する。○地域や季節の食材について調べる |
| 6 | 2編：衣生活<br>・衣服の手入れ<br>3編　生活を豊かにするために<br>・エプロン製作 | ○取り扱い表示の意味を理解し、衣服の素材に適した手入れの方法を選択できる。<br>○衣服の素材や状態に応じた手入れができる。 | 10 | 3編　生活を豊かにするために<br>・エプロン製作 | ○布を用いて生活をに豊にするものを考えることができる。<br>○手縫いやミシン縫いの技能を身に付ける。 | 3 | 3編　衣生活　食生活<br>・持続可能な衣生活、食生活を考える。　生活の実践と課題 | ○持続可能な衣生活や食生活の課題を考えて実践し、リポートにまとめ発表する。 |
| 7 | 3編　生活を豊かにするために<br>・エプロン製作 | ○布を用いて生活をに豊にするものを考えることができる。<br>○手縫いやミシン縫いの技能を身に付ける。 | 11 | 3編　生活を豊かにするために<br>・エプロン製作 | ○布を用いて生活をに豊にするものを考えることができる。<br>○手縫いやミシン縫いの技能を身に付ける。 | | | |
| | | | 12 | 3編　食生活<br>調理の学習<br>肉の調理 | ○調理の流れと手順がわかり，計画を立てることができる。<br>○おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。<br>○肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる | | | |

［第3学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 | 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4 | ・ガイダンス<br>3編　生活を豊かにするために<br>・エプロン製作<br>2編：衣生活<br>・衣服の働きを考えよう | ○生活を豊かにするための工夫を考える。<br>○衣服の社会生活上のはたらきがわかる。<br>○TPOを考えた衣服選びができる。<br>○既製服を選ぶポイントがわかる。 | 8 | | | 1 | 生活の課題と実践 | 3年間の家庭科で学習した内容において課題を発見し、実践しスライドにまとめる。 |
| 5 | 2編：衣生活<br>・既製品の選び方<br>・衣服の手入れ | ○既製服を選ぶポイントがわかる。<br>○手入れの方法がわかる | 9 | 3編　生活を豊かにするために<br>・エプロン製作 | ○布を用いて生活をに豊にするものを考えることができ工夫ができる。　○手縫いやミシン縫いの技能を身に付ける。 | 2 | 生活の課題と実践 | 3年間の家庭科で学習した内容において課題を発見し、実践しスライドにまとめて発表する。 |
| 6 | 3編　生活を豊かにするために<br>・エプロン製作 | ○布を用いて生活をに豊にするものを考えることができ、工夫ができる。　○手縫いやミシン縫いの技能を身に付ける。 | 10 | 3編　衣生活<br>・リサイクル（アップサイクル）　・和服の文化に触れよう | ○和服の文化や歴史、リサイクルについて考え工夫できる。 | 3 | | |
| 7 | 3編　生活を豊かにするために<br>・エプロン製作 | ○布を用いて生活をに豊にするものを考えることができ工夫ができる。　○手縫いやミシン縫いの技能を身に付ける。 | 11 | 3編　食生活<br>調理の学習<br>肉の調理 | ○調理の流れと手順がわかり，計画を立てることができる。<br>○おいしさと調理の関係や調理における衛生と安全を理解し実践できるようにする。<br>○肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる | | | |
| | | | 12 | 生活の課題と実践 | 3年間の家庭科で学習した内容において課題を発見し、実践しスライドにまとめる。 | | | |

# （ 英語科 ）

## １ 教科の目標

英語を通して言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

## ２ 評価について

| 観点 | 評価の観点の趣旨 | 評価の資料 | | | | | 評価にあたって重視することがら（評価規準） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | コミュニケーション活動 | スピーチ等のスピーキング活動 | スピーチ原稿等の課題・発表への取組 | 音読・暗唱 | 定期試験・単元テスト | |
| 知識・技能 | 外国語の音声や語彙，表現，文法，言語の働きなどを理解するとともに，これらの知識を，聞くこと，読むこと，話すこと，書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。 | | ○ | | ○ | ◎ | ・質問や依頼に対して、適切に応じることができる。<br>・書かれた情報について、大切な部分を読み取ることができる。<br>・聞いた内容を正しく聞き取り、情報を的確に把握できる。<br>・基本的な単語や文を正確に読んだり、書いたりできる。<br>・言語の運用（文のきまりなど）についての基礎的な知識を身につけており、さまざまな場面に相応しい表現を知っている。 |
| 思考・判断・表現 | コミュニケーションを行う目的や場面，状況などに応じて，日常的な話題や社会的な話題について，外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり，これらを活用して表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。 | ◎ | ◎ | ○ | | ◎ | ・初歩的な英語を用いて自分の気持ちや考えを話したり、書いたりして表現できる。<br>・質問や依頼に対して、適切に応じることができる。 |
| 主体的に学習に取り組む態度 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め，聞き手，読み手，話し手，書き手に配慮しながら，主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | | ・積極的に英語を聞いたり、話したり、読んだり書いたりして言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。<br>・より積極的に言語活動を行うために、提出物や音読、暗唱、発表などに意欲的に取り組み、コミュニケーションの力をつけようとしている。 |

## 3 年間指導計画

### ［第1学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | Let's Be Friends! | ○お互いの気持ちをたずね合ったり，会話を聞いて場面を考えたりすることができる。<br>○好きな色について聞き取ったり，話したり書いたりすることができる。<br>○行きたい国について聞き取ったり，話したり書いたりすることができる。<br>○数を表す言葉を読んだり聞いたり言ったりすることができる。<br>○誕生日について聞き取ったり，話したり書いたりすることができる。<br>○アルファベットの大文字と小文字を聞いて書き取ることができる。<br>○音とつづりの関係を考えて，基本的な単語を聞き取ったり言ったりすることができる。 |
| | Unit1 Here We Go! ［出会い］ | ○会話から，その人の情報を聞き取ることができる。<br>○自己紹介カードに，自分の情報を書くことができる。 |
| 5 | Daily Life 1　国際郵便 ［国際郵便］ | ○海外宛ての送り状に、宛名や住所を書くことができる。 |
| | Unit2 Club Activities ［部活動］ | ○会話から，好みや得意なことなどを聞き取ることができる。<br>○好きなことや得意なことなどについて，たずね合うことができる。 |
| 6 | Unit3 Enjoy the Summer ［夏休み］ | ○インタビューから，したいことなどを聞き取ることができる。<br>○夏休みにしたいことについて，アンケートを取ることができる。 |
| | World Tour 1 世界の中学生 | ○世界の挨拶や，中学生の生活の様子を知ることができる。 |
| 7 | Active Grammar 1　am,are/一般動詞/can | ○自分と相手のことを伝える言い方を理解することができる。 |
| | You Can Do It! 1　自己紹介で共通点・相違点を見つけよう | ○6人の中学生のプロフィールを読んで，共通点・相違点を見つけることができる。<br>○自己紹介をし合い，お互いの共通点・相違点を見つけることができる。 |
| 8 | Unit4 Our New Friend ［転校生］ | ○人物紹介から，基本的な情報を聞き取ることができる。<br>○身近な人などについて，基本的な情報を紹介することができる。 |
| 9 | | |
| 10 | Unit5 This Is Our School ［学校公開］ | ○学校公開の案内状から，時間や場所などを読み取ることができる。<br>○お気に入りの学校内の施設について，たずね合うことができる。 |
| | Daily Life2　落とし物 | ○落とし物の持ち主を探すやり取りができる。 |
| | Active Grammar2　代名詞 | ○代名詞の使い方を理解することができる。 |
| 11 | Unit6 Cheer Up, Tina ［家族］ | ○紹介文から，その人物が誰かを読み取ることができる。<br>○身近な人の基本的な情報を伝える，紹介文を書くことができる。 |
| | Active Grammar3　is/3人称単数現在形 | ○自分と相手以外のことを伝える言い方を理解することができる。 |
| | Daily Life3　カフェ | ○飲食店で，注文をするやり取りができる。 |
| 12 | World Tour2　世界の時刻 | ○日本と世界の時差について知ることができる。 |
| | Active Grammar4　疑問詞 | ○疑問詞を使ったいろいろな疑問文とその答え方を理解することができる。 |
| | Let's Read1 What Am I? | ○説明文から，"I"についての情報を読み取ることができる。 |
| | You Can Do It!2 「ドリームファミリー」を紹介しよう | ○「ドリームファミリー」の紹介から，家族の情報を聞き取ることができる。<br>○グループで考えた「ドリームファミリー」を紹介することができる。 |
| 1 | Unit7 New Year Holidays in Japan ［年末年始］ | ○はがきから，出来事や感想などを読み取ることができる。<br>○冬休みの出来事や感想などを伝える，はがきを書くことができる。 |
| 2 | Active Grammar5　動詞の過去形 | ○一般動詞とbe動詞の過去形について理解することができる。 |
| | Daily Life4　ウェブサイト | ○ウェブサイトから，必要な情報を読み取ることができる。 |
| | Unit8 Getting Ready for the Party ［誕生日会］ | ○写真の説明から，その場の状況を聞き取ることができる。<br>○写真に，状況を説明するキャプションを書くことができる。 |
| | Active Grammar6 現在進行形 | ○現在進行形について理解することができる。 |
| | Daily Life5 ラジオの中継 | ○ラジオの中継から，現地の様子を聞き取ることができる。 |
| 3 | Let's Read2 The Lion and the Mouse | ○物語から，あらすじを読み取ることができる。 |
| | You Can Do It!3 学校行事の紹介ページを作ろう | ○学校紹介のウェブサイトを読んで，自分たちの学校と同じところや違うところを見つけることができる。<br>○グループで学校行事の紹介ページを作ることができる。 |
| | Let's Read More My Japanese Lessons | ○レポートから，筆者の体験に基づく感想などを読み取ることができる。 |

## ［第2学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | Unit1 Hajin's Diary［日常生活］ | ○日記から、出来事や感想などを読み取ることができる。<br>○日記に、出来事や感想などを書くことができる。 |
| | Active Grammar1 動詞の過去形／過去進行形 | ○過去の出来事や状況などを伝える言い方を理解することができる。 |
| | Unit2 Basketball Tournament［球技大会］ | ○インタビューから、好きなことなどを聞き取ることができる。<br>○好きなことやしたいことなどについて、たずね合うことができる。 |
| 5 | Active Grammar2 動名詞／不定詞〈名詞的用法〉 | ○「～すること」という言い方を理解することができる。 |
| | Daily Life1 電話 | ○電話で、何かを頼んだり応じたりすることができる。 |
| | Unit3 Plans for the Summer［夏の予定］ | ○メールから、予定や希望などを読み取ることができる。<br>○予定や希望などを伝えるメールを書くことができる。 |
| 6 | Active Grammar3 be going to／will | ○未来のことを伝える言い方を理解することができる。 |
| | Daily Life2 アナウンス | ○アナウンスから、必要な情報を聞き取ることができる。 |
| | Let's Read1 Sukh's White Horse | ○物語から、出来事の経過を読み取ることができる。 |
| 7 | World Tour1 いろいろな単位 | ○日本とは異なる単位について知ることができる。 |
| | You Can Do It!1 わが町観光プランをおすすめしよう | ○外国からの交換留学生の自己紹介文を読んで、2人の興味関心があることを知ることができる。<br>○2人の興味関心に応じた観光プランを考えて発表することができる。 |
| | Daily Life3 レストラン | ○飲食店で、注文したり何かを依頼したりすることができる。 |
| 8 | Unit4 Tour in New York City［海外旅行］ | ○ガイドブックから、施設やできることなどを読み取ることができる。<br>○施設やできることなどを言って、場所を紹介することができる。 |
| | Daily Life4 道案内 | ○行き方をたずねたり教えたりする、道案内のやり取りができる。 |
| | Active Grammar4 目的語 | ○動詞の目的語について理解することができる。 |
| 9 | Unit5 Earthquake Drill［防災訓練］ | ○説明から、どんなものかを聞き取ることができる。<br>○防災バッグに入れるものを決める、話し合いをすることができる。 |
| | Daily Life5 イベントのお知らせ | ○複数の掲示板から、自分が必要とする情報を読み取ることができる。 |
| | Daily Life6 体調不良 | ○体調をたずねたり、助言をしたりするやり取りができる。 |
| 10 | Avtive Grammar5 助動詞 | ○既習の助動詞を整理して理解することができる。 |
| | Unit6 Work Experience［職場体験］ | ○レポートから、職場で体験したことや感想などを読み取ることができる。<br>○職場で体験したことや感想などを伝えるレポートを書くことができる。 |
| | Active Grammar6 不定詞〈形容詞的用法・副詞的用法〉 | ○不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を理解することができる。 |
| 11 | Active Grammar7 接続詞 | ○既習の接続詞を整理して理解することができる。 |
| | Let's Read2 Meet Hanyu Yuzuru | ○インタビュー記事から、人物の経歴や思いを読み取ることができる。 |
| | World Tour2 世界を舞台に働く人 | ○世界で活躍する人たちについて知ることができる。 |
| 12 | You Can Do It!2 職業診断のチャートを作ろう | ○職業についてのコメントを読み、どの職業かを当てることができる。<br>○職業診断のチャートを作り、職業診断のやり取りをすることができる。 |
| 1 | Unit7 Amazing Australia［異文化クイズ］ | ○観光紹介の記事から、名所や特色などを読み取ることができる。<br>○町の名所や名物などを伝える、紹介文を書くことができる。 |
| | Daily Life7 観光案内 | ○音声案内から、おおまかな情報を聞き取ることができる。<br>○観光案内情報から、必要な情報を読み取ることができる。 |
| | Avtive Grammar8 比較表現 | ○比較表現を理解することができる。 |
| 2 | Unit8 Staging a Musical［ミュージカル公演］ | ○学級新聞から、作品紹介のおおまかな内容を読み取ることができる。<br>○作者やおおまかな内容などを言って、好きな作品を紹介することができる。 |
| | Active Grammar9 受け身の文 | ○受け身の文について理解することができる。 |
| 3 | Daily Life8 音声ガイド | ○音声ガイドを聞いて、絵画のおおまかな情報を聞き取ることができる。 |
| | Let's Read2 Emoji – From Japan to the World | ○説明文から、絵文字の概要を読み取ることができる。 |
| | World Tour3 世界遺産めぐり | ○いろいろな国の正解遺産について知ることができる。 |
| | You Can Do It!3 日本のおもしろいものを紹介しよう | ○外国人旅行者のインタビューから、日本でおもしろいと思ったものを聞き取ることができる。<br>○日本のおもしろいものを紹介するクイズをすることができる。 |
| | Let's Read more1 The Statue of Liberty | ○自由の女神像の紹介文を読んで、その歴史や見どころを読み取ることができる。 |
| | Let's Read more2 Aboriginal Art | ○アボリジナル・アートの紹介文を読んで、その歴史や特徴を読み取ることができる。 |

## ［第3学年］

| 月 | 学習内容 | 指導目標 |
|---|---|---|
| 4 | Unit1 School Life Around theWorld［世界の学校］ | ○学校紹介の記事から、日本の学校との違いを読み取ることができる。<br>○読んだ記事について、意見を発表することができる。 |
| 5 | Daily Life1 Discussion［修学旅行の行き先について］ | ○話し合いから、それぞれの意見や最終的な結論を聞き取ることができる。 |
| | Unit2 Our School Trip［修学旅行］ | ○会話からおすすめの場所やしたことなどを聞き取ることができる。<br>○おすすめの場所について教え合うことができる。 |
| 6 | Daily Life2 留守番電話 | ○留守番電話の伝言を聞き、用件に応じたやり取りができる。 |
| | Unit3 Lessons From Hiroshima［平和学習］ | ○文章から、人物の経験や心情を読み取ることができる。<br>○読んだ文章について、感じたことなどを発表することができる。 |
| | Active Grammer1 現在完了形/現在完了進行形 | ○現在完了形と現在完了進行形を理解することができる。 |
| 7 | Let's Read1 From the Diary of Kawamoto Itsuyoshi［平和学習］ | ○日記から出来事や気持ちを読み取り、筆者について想像したことを伝え合うことができる。 |
| 8 | World Tour1 Living With Animals［絶滅危惧種］ | ○絶滅危惧種の現状やその原因について知ることができる。 |
| | You Can Do It!1「過去」と「現在」の相違点を挙げよう［町の歴史］ | ○町の歴史についての説明を聞いて、内容を理解することができる。<br>○過去と現在の町の写真を比べて相違点を述べたり、50年後の町の変化を予想して述べたりすることができる。 |
| 9 | Unit4 AI Technology and Languages［科学技術］ | ○投稿文から、それぞれの意見の要点を読み取ることができる。<br>○読んだ投稿文について、感想や自分の意見を書くことができる。 |
| 10 | Let's Read2 Robots Make Dreams Come True［現代社会におけるロボットの働き］ | ○説明文の要旨を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。 |
| | Daily Life3 ポスター | ○ポスターから必要な情報を読み取ることができる。 |
| | Unit5 Plastic Waste［環境問題］ | ○プレゼンテーションから、話の流れを読み取ることができる。<br>○読んだプレゼンテーションについて、感想や考えを伝え合うことができる。 |
| 11 | Daily Life4 ニュース［会議についての報道］ | ○ニュースを聞いて要点を捉え、おおまかな内容を説明することができる。 |
| | Unit6 The Chorus Contest［合唱コンクール］ | ○絵の説明から、場面や状況を聞き取ることができる。<br>○絵にふさわしい台詞を考えて発表することができる。 |
| 12 | Active Grammer2 後置修飾 | ○名詞の後ろに説明を追加する言い方を理解し、使うことができる。 |
| | You Can Do It!2 学校に必要なものを考えて意見を伝えよう | ○2人の生徒の提案を読み、賛成か反対かを決めることができる。<br>○どちらかの提案について、自分の意見と理由を伝え合うことができる。 |
| 1 | Unit7 Tina's Speech［思い出のスピーチ］ | ○スピーチから、話し手がいちばん伝えたいことを聞き取ることができる。<br>○今の自分の様子を伝える、スピーチをすることができる。 |
| | How Do We Live?［世界の現状］ | ○世界を100人の村にたとえた文章から、世界の現状を知ることができる。 |
| 2 | Changing the World［環境問題に関するスピーチ］ | ○スピーチから話し手の主張を読み取り、自分の考えを伝え合うことができる。 |
| | Unit8 Goodbye, Tina［別れと旅立ち］ | ○手紙から、書き手の一番伝えたいことを読み取ることができる。<br>○自分の気持ちを伝える手紙を書くことができる。 |
| 3 | You Can Do It!3 3年間を締めくくる言葉を考えよう | ○単語を折り込んだ詩から、書き手の気持ちを読み取ったり表現の工夫に気づいたりすることができる。 |
| | Let's Read more1 The Runner Wearing Number 67［オリンピック］ | ○1964年の東京オリンピックのエピソードから、選手の思いを読み取ることができる。 |
| | Let's Read more2 Visas for 6,000 Lives［戦争と生き方］ | ○杉原千畝の伝記から、彼の行動と思いを読み取ることができる。 |
| | The Adventures of Tom Sawyer［少年の思いと行動］ | ○「トム・ソーヤの冒険」の1節から、物語のおもしろさを味わったり人間の行動について考えたりすることができる。 |

# 令和3年度　特別の教科道徳　年間指導計画（主題配列表）

| 月 | 1年 | | | 2年 | | | 3年 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 内容項目 | | 資料 | 内容項目 | | 資料 | 内容項目 | | 資料 |
| 4 | B-(6) | 思いやり、感謝 | 思いやりの日々 | B-(6) | 思いやり、感謝 | 心に寄りそう | B-(6) | 思いやり、感謝 | 一冊の漫画雑誌 |
| | B-(7) | 礼儀 | 朝市の「おはようございます」 | B-(7) | 礼儀 | あいさつ | B-(7) | 礼儀 | 言葉おしみ |
| | C-(10) | 遵法精神、公徳心 | 選手に選ばれて | C-(10) | 遵法精神、公徳心 | 許さない心 | C-(10) | 遵法精神、公徳心 | 缶コーヒー |
| 5 | A-(3) | 向上心、個性の伸長 | 自分の性格が大嫌い！ | A-(3) | 向上心、個性の伸長 | 私は十四歳 | A-(3) | 向上心、個性の伸長 | ぼくにもこんな「よいところ」がある |
| | B-(9) | 相互理解、寛容 | いじめに当たるのはどれだろう | B-(9) | 相互理解、寛容 | 遠足で学んだこと | B-(9) | 相互理解、寛容 | しあわせ |
| | A-(1) | 自主、自律、自由と責任 | 傍観者でいいのか | A-(1) | 自主、自律、自由と責任 | あの子のランドセル | A-(1) | 自主、自律、自由と責任 | スイッチ |
| 6 | C-(11) | 公正、公平、社会正義 | ふたつの心 | C-(11) | 公正、公平、社会正義 | 私のせいじゃない | C-(11) | 公正、公平、社会正義 | 無実の罪 |
| | C-(18) | 国際理解、国際貢献 | 山岳民族の文化を守る | C-(18) | 国際理解、国際貢献 | 六千人の命のビザ | C-(18) | 国際理解、国際貢献 | そのこ |
| | C-(12) | 社会参画、公共の精神 | 楽寿号に乗って | C-(12) | 社会参画、公共の精神 | 住みよい社会に<br>今度は私の番だ | C-(12) | 社会参画、公共の精神 | 社会からの無言の賞賛を感じる感性 |
| | A-(2) | 節度、節制 | 山に来る資格がない | A-(2) | 節度、節制 | 白ご飯を目指して―萩野公介 | A-(2) | 節度、節制 | スマホに夢中！ |
| 7 | B-(6) | 思いやり、感謝 | 人権作文への取組 | B-(6) | 思いやり、感謝 | 人権作文への取組 | B-(6) | 思いやり、感謝 | 人権作文への取組 |
| | D-(22) | よりよく生きる喜び | 銀色のシャープペンシル | D-(22) | よりよく生きる喜び | 本当の私 | D-(22) | よりよく生きる喜び | 背番号15が歩んだ道―黒田博樹 |
| 8 | B-(8) | 友情、信頼 | 短文投稿サイトに友達の悪口を書くと | B-(8) | 友情、信頼 | みんなでとんだ！ | B-(8) | 友情、信頼 | 合格通知（情報モラル） |
| 9 | D-(19) | 生命の尊さ | いのちってなんだろう | D-(19) | 生命の尊さ | 奇跡の一週間 | D-(19) | 生命の尊さ | 生まれてきてくれて，ありがとう―助産師からのメッセージ |
| | D-(19) | 生命の尊さ | 決断！骨髄バンク移植第1号 | C-(12) | 社会参画、公共の精神 | 今度は私の番だ | D-(19) | 生命の尊さ | くちびるに歌をもて |
| | D-(19) | 生命の尊さ | あなたはひかり | A-(2) | 節度、節制 | 田老の生徒が伝えたもの | C-(15) | よりよい学校生活、集団生活の充実 | 受けつがれる思い |
| 10 | C-(14) | 家族愛、家庭生活の充実 | 靴 | C-(14) | 家族愛、家庭生活の充実 | ごめんね，おばあちゃん | C-(14) | 家族愛、家庭生活の充実 | 背筋をのばして |
| | B-(8) | 友情、信頼 | 班での出来事 | B-(8) | 友情、信頼 | ゴール | B-(8) | 友情、信頼 | ライバルどうしの友情―スピードスケート　小平奈緒と李相花 |
| | C-(12) | 社会参画、公共の精神 | 本が泣いています | B-(9) | 相互理解，寛容 | 注文をまちがえる料理店 | C-(12) | 社会参画、公共の精神 | 加山さんの願い |
| | C-(13) | 勤労 | 新しいプライド | C-(13) | 勤労 | 我，ここに生きる | C-(13) | 勤労 | 好きな仕事か安定かなやんでいる |
| 11 | C-(13) | 勤労 | 「看護する」仕事 | C-(13) | 勤労 | 「十年後の自分」から「現在の自分」にメッセージを伝えよう | B-(6) | 思いやり、感謝 | 埴生の宿 |
| | A-(5) | 真理の探究、創造 | 「どうせ無理」という言葉に負けない | A-(5) | 真理の探究、創造 | 赤土の中の真実 | A-(5) | 真理の探究、創造 | 日本から世界へ，そして宇宙へ―インスタントラーメンの誕生 |
| | C-(11) | 公正、公平、社会正義 | 席替え | C-(11) | 公正、公平、社会正義 | 渡良瀬川の鉱毒 | C-(18) | 国際理解，国際貢献 | 命見つめて |
| | C-(11) | 公正、公平、社会正義 | くじ引きの後の場面をやってみよう | A-(4) | 希望と勇気、克己と強い意志 | 左手でつかんだ音楽 | C-(11) | 公正、公平、社会正義 | 伝えたいことがある |
| 12 | B-(6) | 思いやり、感謝 | その人が本当に望んでいること | B-(6) | 思いやり、感謝 | 愛 | C-(13) | 勤労 | たんぽぽ作業所 |
| | A-(4) | 希望と勇気、克己と強い意志 | 風を感じて～村上清加のチャレンジ | D-(19) | 生命の尊さ | 妹に　三つのいのちについて考える | A-(4) | 希望と勇気、克己と強い意志 | 高く遠い夢 |
| 1 | C-(10) | 遵法精神、公徳心 | ごみ箱をもっと増やして | C-(10) | 遵法精神、公徳心 | 宝塚方面行き―西宮北口駅 | C-(10) | 遵法精神、公徳心 | 二通の手紙 |
| | C-(16) | 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 | 郷土を彫る | C-(16) | 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 | 祭りの夜 | C-(16) | 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 | 島唄の心を伝えたい |
| | D-(21) | 感動、畏敬の念 | 火の鳥 | D-(21) | 感動、畏敬の念 | 夜は人間以外のものの時間 | D-(21) | 感動、畏敬の念 | ハッチを開けて，知らない世界へ |
| 2 | C-(15) | よりよい学校生活、集団生活の充実 | 全校一を目指して | C-(15) | よりよい学校生活、集団生活の充実 | 四十七年に感謝をこめて | A-(1) | 自主，自律，自由と責任 | ある日の午後から |
| | C-(16) | 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度 | ぼくのふるさと | C-(13) | 勤労 | 宇宙人 | D-(22) | よりよく生きる喜び | 足袋の季節 |
| | D-(22) | よりよく生きる喜び | 花に寄せて | D-(22) | よりよく生きる喜び | 良心とのたたかい | C-(17) | 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 | 花火と灯ろう流し |
| | B-(9) | 相互理解、寛容 | 落語が教えてくれること | C-(17) | 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 | 書道パフォーマンスの挑戦 | B-(9) | 相互理解、寛容 | 心にしみこむ”言葉”の力―池上彰 |
| 3 | D-(20) | 自然愛護 | 桜に集う人の思い | D-(20) | 自然愛護 | 冬の使者「マガン」 | D-(20) | 自然愛護 | よみがえれ，日本海！ |
| | C-(17) | 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 | 古都の雅、菓子の心 | C-(17) | 我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度 | 心でいただく伝統の味 | A-(2) | 節度，節制 | 早朝ドリブル |

# 令和3年度　学級活動年間活動計画（案）

特別活動指導部

| 月 | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 知り合う | | | | 関わり合う | | | | | 認め合う・高め合う | | |
| 特別活動を通して身に付けたい資質・能力 | | ○積極的に他者と関わり、人間関係を築こうとする<br>○自分や友達の意見をもとに合意形成をし、よりよい学級をつくろうとする<br>○新しい環境の中で、自分のよさを見つめ、大切にしようとする | | | | ○積極的に他者のよさを認め豊かな人間関係を築こうとする<br>○協働する中で見つけた問題について合意形成をし、よりよい学級をつくろうとする<br>○自分のよさや可能性を見つめ、発揮しようとする | | | | | ○互いのよさや可能性を生かしながらより豊かな人間関係を築こうとする<br>○自律的に学級を運営していく中で見つけた問題について合意形成し、よりよい学級をつくろうとする<br>自分のよさや可能性を高め、発揮しようとする | | |
| 学級活動の時間 | 1年 | ・中学校生活の出発<br>・学級目標と組織<br>・連休の過ごし方<br>・学校生活に慣れよう<br>・部活動の意義<br>・体育祭に向けて<br>・自然教室に向けて<br>・進路学習 | ・中学生の学習<br>・生徒会の組織<br>→生徒総会に向けて<br>・体育祭を成功させよう<br>・自然教室を成功させよう<br>・進路学習 | ・望ましい学習態度と家庭学習のあり方<br>・合唱コンクールに向けて<br>・進路学習 | ・１学期の反省<br>・夏休みの過ごし方<br>・合唱コンクールに向けて<br>・進路学習 | ・職業調べ<br>・進路学習 | ・夏休みの反省と充実した学級生活<br>・楽しい学校生活を送るために<br>・合唱コンクールに向けて<br>・進路学習 | ・自分を知る①<br>・学級生活の反省と改善<br>・生徒会役員選挙に向けて<br>・合唱コンクールを成功させよう<br>・進路学習 | ・自分を知る②<br>・自然教室に向けて<br>・職業講話に向けて<br>・進路学習 | ・生き方を考える<br>・職業講話の反省<br>・健康教育<br>・２学期の反省<br>・冬休みの計画<br>・進路学習 | ・中学生としての自覚と集団の一員としての心構え<br>・新年の決意<br>・進路学習 | ・３年生を送る会に向けて<br>・生徒会活動の反省<br>・保健VTR→性について<br>・進路学習 | ・１年生の反省と2年生への準備<br>・自分を知る③<br>・進路学習 |
| | 2年 | ・新しい学年を迎えて<br>・学級目標と組織<br>・連休の過ごし方<br>・2年生としての自覚<br>・体育祭に向けて<br>・校外学習に向けて<br>・進路学習 | ・生徒会について考えよう<br>→生徒総会に向けて<br>・体育祭を成功させよう<br>・校外学習に向けて<br>・進路学習 | ・校外学習を成功させよう<br>・充実した学習<br>→学習生活の反省と改善<br>・合唱コンクールに向けて<br>・進路学習 | ・１学期の反省<br>・夏休みの過ごし方<br>・合唱コンクールに向けて<br>・進路学習 | ・高校調べ<br>・進路学習 | ・夏休みの反省と充実した学級生活<br>・合唱コンクールに向けて<br>・進路学習 | ・学級生活の反省と改善<br>・生徒会役員選挙に向けて<br>・合唱コンクールを成功させよう<br>・進路学習 | ・自分を知る→自分の適性<br>・生き方を考える<br>・進路学習 | ・健康教育<br>・２学期の反省<br>・職場体験に向けて<br>・有意義な冬休みにしよう<br>・冬休みの計画<br>・進路学習 | ・新年の決意<br>・職場体験の反省<br>・進路学習 | ・３年生を送る会に向けて<br>・生徒会活動の反省<br>・保健VTR→性について<br>・進路学習 | ・２年生の反省と３年生への準備<br>・最上級生としての準備と心構え<br>・進路学習 |
| | 3年 | ・最終学年を迎えて<br>・学級目標と組織<br>・連休の過ごし方<br>・３年生としての自覚<br>・体育祭に向けて<br>・修学旅行に向けて<br>・進路学習 | ・生徒会について考えよう<br>→生徒総会に向けて<br>・修学旅行に向けて<br>・体育祭を成功させよう<br>・進路学習 | ・合唱コンクールに向けて<br>・修学旅行を成功させよう<br>・進路学習 | ・１学期の反省<br>・夏休みの過ごし方→充実した計画的な学習<br>・合唱コンクールに向けて<br>・進路学習 | ・高校調べ<br>・進路学習 | ・夏休みの反省と充実した学級生活<br>・合唱コンクールに向けて<br>・進路学習 | ・学級生活の反省と改善<br>・後輩に託すこと→生徒会活動の見直しと反省<br>・合唱コンクールを成功させよう<br>・進路学習 | ・進路学習（具体的な進路に向けて） | ・保健VTR→薬物<br>・２学期の反省<br>・冬休みの計画→進路に向けた有意義な冬休み<br>・進路学習 | ・新年の決意<br>・受験の心構え（進路学習） | ・卒業期を迎えて→卒業までの生活（特別時間割）<br>・生徒会活動の反省<br>・卒業式への取り組み<br>・進路学習 | ・中学校生活のまとめ<br>・卒業後の生活<br>・奉仕の心をもって→学校美化<br>・健康教育<br>・進路学習 |
| 学校行事 | | 始業式<br>入学式<br>新入生仮入部<br>対面式 | 体育祭<br>自然教室① | 校外学習②<br>修学旅行③<br>定期テスト<br>生徒総会 | 大掃除<br>終業式 | 夏休み<br>始業式 | 定期テスト | 生徒会役員選挙<br>高田祭　合唱の部<br>高田祭　文化の部 | 定期テスト<br>職業講話① | 終業式 | 始業式 | 卒業遠足<br>定期テスト | ３年生を送る会<br>卒業式<br>大掃除<br>修了式 |

# 令和３年度　　生徒会年間活動計画（案）

| 月 | 生徒会行事 | 中央委員会 | その他 |
|---|---|---|---|
| ４ | 対面式<br>認証式（前期） | 前期組織決定<br>委員会活動報告 | 前期学級専門委員決定<br>学級専門委員会（組織作り）<br>特別委員会 |
| ５ | 体育祭 | 委員会活動報告<br>生徒総会に向けて | 学級専門委員会<br>特別委員会 |
| ６ | 生徒総会 | 生徒総会<br>委員会活動報告 | 学級専門委員会<br>特別委員会 |
| ７ | 本部企画 | 委員会活動報告 | 学級専門委員会<br>特別委員会<br>横浜こども会議に向けて |
| ８・９ | | 委員会活動報告 | 学級専門委員会（前期反省）<br><br>特別委員会 |
| １０ | 生徒会本部役員選挙<br>本部役員引き継ぎ<br>認証式（後期/生徒会役員）<br>高田祭　合唱の部<br>高田祭　文化の部 | 前期反省<br>後期組織決定<br>委員会活動報告 | 後期専門委員決定<br>学級専門委員会（組織作り）<br>特別委員会 |
| １１ | | 委員会活動報告 | 学級専門委員会、特別委員会（反省） |
| １２ | | 委員会活動報告<br>３年生を送る会に向けて | 学級専門委員会 |
| １ | | 委員会活動報告<br>３年生を送る会に向けて | 学級専門委員会（３年後期反省） |
| ２ | | 委員会活動報告<br>３年生を送る会に向けて<br>次年度対面式に向けて | 学級専門委員会 |
| ３ | ３年生を送る会 | 委員会活動報告<br>１年間の反省<br>次年度対面式について | 学級専門委員会（１・２年後期反省） |

横浜市立高田中学校　令和３年度 **総合的な学習の時間年間指導計画**

学習指導部総合学習担当

**高田中学校教育目標**

学ぶことを通して、自ら課題を形成し、その課題を自ら解決し 21 世紀を生き抜く力をもった人を育て、子どもたちの自己実現を支援するために次の力をはぐくみます。

○自ら学習力の向上に努め、自立的に学び続けていく力。（知）

○生命を尊重し、心身の健康を維持向上していく力（徳・体）

○ともに認め合い社会参画に努め、自他、および社会をよりよく高めていく力（公・開）

**「総合的な学習の時間」の基本的な考え方**

○地域との連携を大切にし、生徒一人ひとりの社会的･職業的自立に向け、キャリア教育を重視し、各自が興味･関心をもった課題を設定し、課題解決に取り組む。３年間の学びの連続性を意識した学習を組み立てる。

○校外学習を深めるために、目的地に関連する学習を行い、学習成果を様々な表現方法を工夫して、発表･表現する力を身に付ける。

○日常の活動で課題発見し、探究を深め、自分の考えをまとめ・発表する力を身に付ける。

**目標**　①生活体験の中から自ら学習課題を見出し、探究活動を通して主体的に課題解決する姿勢を身につけます。
②学習を通して、自己の生き方を見つめ、地域・社会に貢献する行動を考え、実践する力を身につけます。
③他の教科で学んだことを活かし、多くの人と協働することで、幅広い見方・考え方を身につけます。

| 観点 | 項目 | １年 | ２年 | ３年 |
|---|---|---|---|---|
| 学習方法に関すること | 課題の発見と設定、計画の立案 | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 課題解決に向けた情報の収集 | ◎ | ○ | ○ |
| | 必要な情報の整理・分析・考察 | ○ | ◎ | ○ |
| | 相手や目的に応じた表現 | ○ | ◎ | ◎ |
| | 学習や生活への生かし方 | ○ | ○ | ◎ |
| 自分自身に関すること | 学ぶ楽しさと創り出す喜び | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 課題の解決に向けた行動 | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 生活のあり方を見直した実践 | ○ | ◎ | ○ |
| | 将来を考え、夢や希望をもつこと | ○ | ○ | ◎ |
| | 自らの行為についての意志決定 | ○ | ◎ | ◎ |
| 他者や社会とのかかわりに関すること | 他者の意見や考え方の理解（他者理解） | ○ | ◎ | ○ |
| | 他者と協働した課題解決 | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 礼儀と規律、相手の人格尊重の態度 | ○ | ○ | ◎ |
| | 地域での活動と社会へのかかわり | ◎ | ◎ | ◎ |
| | 他者とのコミュニケーション | ◎ | ◎ | ○ |
| | 横浜（まち）の伝統・文化の尊重 | ○ | ○ | ○ |

◎：各活動の中心となる項目　○：各活動で行う項目

**教育活動決定の要素**

横浜の北部の農専地区と地下鉄開通後に開けた新興住宅地を学区とし、地域や学区の小学校と密接な関係を築きながら、教育活動を展開してきた。生徒は概ね落ち着いて、学習、行事、部活動等に大変熱心に取り組んでいる。

各教科や総合学習での調べ学習や発表には意欲的に取り組んでいるので、これからも、地域の協力を得ながら課題解決学習を通して、主体的に学習し学習成果を発信していく学びを大切にしていきたい。

| 学習内容 | 学習方法 |
|---|---|
| ○キャリア学習 | １年の職業講話、２年の社会とつながる学習、３年の進路学習と系統だったキャリア学習、社会とつながる学習を、企業や地域の事業所等の協力を得て進める。活動成果を発表し仲間と活動を共有していくことで、主体的に学習し他者理解や相互評価へとつなげている。 |
| ○校外行事関連の課題学習 | 学年ごとにテーマを設定し、校外行事の各目的地に関連する調べ学習を行い、実際に見学や体験を行ったことをふまえて、ポートフォリオや新聞、プレゼンソフトなどにまとめていく。 |
| ○表現力の学習 | 調べ学習の内容や読書などから学んだ内容について、そこから探究を深め、学んだことや考えたことをまとめ、ポートフォリオや ICT などを活用して発表していけるような発信力・表現力を高める。 |

※今年度に関して、新型コロナウィルス感染拡大防止の観点より、２年の職場体験は実施いたしません。

# 総合的な学習の時間　年間予定表

高田中学校

| 月 | １　年 | ２　年 | ３　年 | 高田の時間 |
|---|---|---|---|---|
| 4 | 校外行事関連<br>自然教室に向けて | 校外行事関連 | 校外行事関連<br>修学旅行 | 読む活動<br>ICTに関わる活動 |
| 5 | 自然教室 | 商品開発を学ぶ<br>（マルちゃんとオリジナルカップ麺を作ろう）<br>コンセプト・デザイン制作<br>(美術の授業) | | |
| 6 | | 校外学習 | キャリア教育<br>自分を知る | |
| 7 | キャリア教育<br>職業調べに向けて | キャリア教育 | | |
| 8 | 職業調べ | 上級学校調べ | 進路の情報集め | |
| 9 | 職業調べ発表 | 上級学校調べ発表<br>商品プレゼン個人発表<br>(美術の授業) | | 発表の準備活動 |
| 10 | 職業講話に向けて | 選抜者プレゼン発表<br>(学年、総合) | | 発表する活動 |
| 11 | 職業講話<br>商品開発を学ぶ | 代表作品の試食品完成 | 自己PRと意思決定に向けて | 読む活動 |
| 12 | （マルちゃんとオリジナルカップ麺を作ろう） | キャリア教育 | | |
| 1 | 商品開発とは（講話） | 職場体験<br>（今年度、職場体験は中止。発展的職業講話へ変更する） | | |
| 2 | オリジナルカップ麺 | 校外行事関連 | | |
| 3 | コンセプト・デザインの検討 | 修学旅行に向けて | 進路決定 | 1年間のまとめ |

＜評価の観点＞　●学習方法に関すること　●自分自身に関すること

●他者や社会とのかかわりの関すること

# 令和３年度　学校保健計画（案）

横浜市立高田中学校

| 月 | 目標 | 行事 | 管理 | | 教育 | | 組織 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 心身 | 環境 | 指導 | 学習 | 生徒 | 職員 | PTA |
| 4月 | 自分の体を知る | 定期健康診断<br>健康相談<br>（１年生対応）<br>職員健康診断<br>（10/31 まで） | 健康観察<br>欠席調べ（毎日）<br>保健調査<br>生徒理解研修会<br>定期健康診断<br>身体計測<br>視力検査<br>聴力検査<br>尿検査<br>結核検診<br>心臓検診<br>内科検診<br>眼科検診<br>耳鼻科検診<br>歯科検診 | 教室の整備<br>机・いすの調整<br>水質検査（毎日）<br>清掃区域分担<br>カーテン整備<br>医薬品の補充と管理<br>学校環境衛生検査 | 健康手帳の活用<br>定期健康診断の事前指導<br>保健室の利用の方法 | 傷害の防止<br>（３年）<br>健康と環境<br>（２年）<br>心身の機能の発達と心の健康（１年） | 組織編制<br>年間活動計画<br>定期健康診断補助 | 組織確認<br>保健計画の決定<br>危機管理研修<br>定期健康診断の運営<br>健康観察の実施 | 組織編制<br>年間活動計画の決定 |
| 5月 | 疾病の早期発見と早期治療 | 定期健康診断<br>健康相談<br>（宿泊学習関係）<br>自然教室<br>校外学習<br>体育祭 | | | 宿泊学習における保健指導 | | 定期健康診断補助<br>体育祭係活動 | 花殿の計画運営<br>生徒理解研修<br>疾病対応研修 | |
| 6月 | う歯の予防 | 修学旅行<br>定期健康診断総合判定<br>水泳禁止者の把握健康相談 | スポーツ振興センター加入申し込み<br>宿泊学習に伴う保健調査 | 雨天時の遊び<br>食中毒の予防<br>樹木の防虫<br>照度検査 | 定期健康診断事後指導<br>梅雨時健康管理<br>う歯の予防 | | 清掃用具整備 | 定期健康診断の反省<br>体育祭係生徒指導<br>大掃除計画立案 | 市保健会総会参加<br>区保健会総会参加（書面）<br>体育祭の協力 |
| 7月 | 規則正しい生活 | 大掃除<br>健康相談 | 定期健康診断のまとめ<br>水泳管理者の健康管理<br>夏休み中の治療の勧め<br>準保めがね援助 | プール検査<br>大掃除<br>大掃除（廊下ﾜｯｸｽ） | 普通救命講習<br>夏休みの健康生活<br>夏に多い病気の予防<br>熱中症の予防 | | 大掃除準備・片付け<br>学校保健員会への取組み<br>花殿土作り | 大掃除準備 | |
| 8・9月 | 健康生活の見直 | 健康相談<br>学校保健委員会 | 夏休み中のけがと疾病治療状況調査<br>健康診断票の整理 | 清掃用具の点検と補充<br>教室環境整備<br>ダニ・アレルゲン検査 | 夏休みの健康生活の反省<br>体力づくり | | 学校保健委員会への取り組み、発表 | 夏休みの健康調査<br>学校保健委員会への取り組み・運営<br>危機管理研修 | 学校保健委員会参加 |
| 10月 | 目の健康 | 健康相談 | 視力精検状況確認 | 空気環境検査 | 目の健康<br>正しい姿勢<br>環境教育 | | 高田祭発表<br>後期組織作り | 視力精検状況確認 | バザー手伝い |
| 11月 | 風邪の予防 | 健康相談<br>救命講習（２年） | う歯未治療者経過観察<br>かぜの予防<br>手洗いうがい励行<br>教室の換気 | 暖房設備の整備<br>感染症対策（インフルエンザ等）<br>照度検査 | かぜの予防<br>う歯の予防<br>感染症の予防 | | 花殿準備<br>花殿（花）の植え付け | 花殿の計画運営<br>普通救命救急法講習準備<br>薬物乱用防止指導立案 | |
| 12月 | 冬受の験健期康の健康 | 健康相談<br>大掃除 | かぜの予防<br>手洗いうがいの励行<br>インフルエンザ流行期の対応 | 照度検査<br>大掃除 | 薬物乱用防止指導<br>冬休みの健康生活<br>受験期の健康管理 | | 感染症予防<br>環境衛生に関する呼びかけ<br>大掃除準備・片付 | インフルエンザ流行対応についての職員周知<br>カーテン洗濯準備 | カーテン洗濯 |
| 1月 | 体力作りと安全 | 健康相談 | 冬休みのけがと疾病調査<br>受験前の健康管理<br>準保めがね援助まとめ | 清掃用具の点検・補充 | 冬休みの健康生活の反省<br>成長期に適した食生活<br>自然教室における保健指導 | | 感染症予防<br>環境衛生に関する呼びかけ | 年間反省<br>健康教育立案<br>インフルエンザ流行対応 | 市学校保健大会参加 |
| 2月 | 教育環境整備 | 健康相談 | う歯・低視力者治療状況の確認 | 教室環境整備<br>備品・薬品管理<br>空気環境検査 | 健康教育 | | 感染症予防<br>教室の消毒<br>環境衛生に関する呼びかけ | 教室大掃除計画立案<br>インフルエンザ流行対応 | 区学校保健大会参加 |
| 3月 | 1年間反の省 | 大掃除<br>健康相談 | １年間のまとめ<br>学校病治療状況把握 | 備品点検<br>清掃用具点検<br>大掃除（教室ﾜｯｸｽ） | 耳の健康<br>１年間の反省 | | 大掃除準備・片付け<br>年間活動の反省 | 大掃除準備<br>次年度活動計画立案 | 年間活動の反省 |

# 令和３年度　学校安全計画（案）

横浜市立高田中学校

| 月 | 目標 | 行事 | 管理 | | 教育 | | 組織 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 環境 | 生活 | 指導 | 学習 | 生徒 | 職員 | PTA |
| 4月 | 安全な登下校 | 安全点検<br>生徒指導研修会<br>避難訓練(避難経路の確認)<br>生徒理解研修会 | 安全計画の作成<br>安全点検（危険個所の確認）<br>教室内環境整備 | 防災計画の作成<br>事故発生時の対応確認<br>通学路の確認<br>生徒指導研修会 | 登下校の安全<br>交通安全<br>避難の方法と経路の確認<br>けがの応急処置 | ３年障害の防止 | 組織編成<br>年間計画 | 安全計画の決定認<br>安全点検のまとめ<br>防災・防犯計画の確認 | 組織編成<br>年間計画 |
| 5月 | 施設設備の適切な使用法 | 生徒理解研修会<br><br><br><br>地域防災訓練（１年） | 校舎内外の整備<br>樹木の防虫 | 防犯対策<br>生徒理解研修会 | 廊下階段の安全歩行<br>校舎内の安全<br>宿泊行事における安全<br><br>地域総合防災訓練 | | | | 市学校保健会総会参加<br>支部学校保健会総会参加 |
| 6月 | 梅雨期の過ごし方安全 | 安全点検 | 安全点検（校舎内外の破損箇所・危険箇所・修理箇所の点検）<br>プール清掃 | 水泳禁止者の把握<br>けがの防止対策<br>室内での過ごし方 | 室内における安全指導<br>不審者に対する対応<br>携帯電話安全教室（１，２年生）<br>熱中症の予防 | | 体育祭準備・救護係 | 体育祭係指導 | 体育祭の協力 |
| 7月 | 夏の事故防止をよう | プール開き | プール衛生検査<br>教室内環境整備 | 水泳参加者の健康管理<br>夏休みの安全な生活 | 水泳時の安全<br>夏休み中の安全<br>外出時の交通安全<br>危険な遊びの防止 | | 学校保健委員会の準備<br>教室環境整備 | 普通救命救急法講習会準備<br>学校保健委員会の準備<br>防災総合訓練の計画 | |
| 8・9月 | 災害時の安全 | 防災総合訓練（授業時間中の対応）<br>体育祭 | 教室内環境整備 | 総合防災訓練 | 地震発生時の対応<br>スポーツ障害の予防 | 全学年自然災害 | 学校保健委員会・高田祭の準備・発表 、教室環境整備 | 防災総合訓練の運営<br>学校保健委員会の準備・運営 | 防災総合訓練の協力<br>学校保健委員会参加 |
| 10月 | 教室環境整備 | 普通救命救急法講習会（２年） | | | 集団行動での安全指導<br>普通救命救急法講習会 | ２年健康と環境 | 高田祭発表 | | |
| 11月 | 交通法規の理解 | 安全点検 | 安全点検（暖房施設の点検、校舎内外の破損箇所・危険箇所・修理箇所の点検） | 防火設備の整備<br>暖房設備の整備 | 交通事故の原因と防止 | | | 暖房計画<br>避難訓練の計画 | |
| 12月 | 安全な過ごし方 | 避難訓練（火災）（非通知含む） | 教室内環境整備 | 冬休みの安全な生活 | 火災時の避難<br>安全指導<br>暖房器具の安全な使い方<br>冬休み中の安全 | | 教室環境整備 | 避難訓練の運営<br>避難訓練（非通知）の計画<br>安全点検の強化<br>暖房の実施 | |
| 1月 | 安全な暖房使用 | | | 登下校の安全<br>戸外運動の励行 | 火傷の防止<br>宿泊行事における安全 | | | 年間反省及び次年度活動計画検討 | |
| 2月 | 教室環境整備 | 安全点検 | 安全点検（校舎内外の破損箇所・危険箇所・修理箇所の点検） | 室内での過ごし方<br>戸外運動の励行 | 室内での過ごし方 | | | 年間反省及び次年度活動計画検討 | |
| 3月 | 年間の反省 | | 教室内環境整備 | 春休みの安全な生活 | 春休み中の安全<br>１年間の安全生活の反省 | | 教室内環境整備<br>１年間の反省 | 年間反省及び次年度活動計画立案 | 年間活動の反省 |